

軽量パネル止水板

フラッドセーフライト

台風やゲリラ豪雨による浸水被害から大切な資産を守る

かんたん
設置

軽くて
強い

優れた
止水性

浸
水
に
備
え
る



目次

浸水対策ガイドライン	P2	設置例	P27
止水板とは	P3	標準仕様図	P31
JIS等級	P4	設置方法: 1段タイプ	P32
フラッドセーフライト1段タイプ	P7	2段タイプ	P33
フラッドセーフライト2段タイプ	P9	サイド柱	P34
止水のメカニズム	P11	サイド柱L	P35
特長① かんたん2ステップ	P12	屋内用サイド柱	P36
特長② 止水性	P13	中間柱	P37
止水性動画QRコード	P14	保管方法	P38
特長③ 軽くて強い	P15	メンテナンス	P39
特長④ 簡易工事	P16	交換用止水パッキン	P40
設置条件	P17	フラッドセーフパネルの紹介	P41
設置場所	P19	エレベーター前角度測定	P42
サイド柱	P21		
サイド柱L	P22		
屋内用サイド柱	P23		
中間柱	P24		
自動ドアセンサー回避部材	P25		
お客様の声	P26		

掲載内容について

●掲載商品の価格・仕様について

このカタログに掲載の商品は、2021年1月1日現在の商品です。商品によっては、仕様、価格などを変更する場合がありますので、最新の情報は当社ホームページでご確認いただくか、当社営業所までお問い合わせください。

また、このカタログに記載されている全ての表示価格は、消費税・施工費を含んでおりません。 <https://www.takiron-ci.co.jp>

●商品写真・イラストについて

このカタログに掲載されている各種商品の写真やイラストについては、できる限り実物に近づけていますが、実物とは異なる場合があります。

(掲載写真には合成写真を含みます)



建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン (国土交通省・経済産業省)

2019年の台風19号では、首都圏の高層マンションの地下電気設備が浸水被害を受けました。この被害を受けて、国土交通省と経済産業省は2020年6月に不動産会社やマンション管理組合向けの「建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン」を公表しました。

その中で、浸水対策の具体的な取り組みとして、

- ① 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置
- ② 対象建築物内への浸水を防止する対策（水防ラインの設定等）
- ③ 水防ライン内において電気設備への浸水を防止する対策
- ④ 洪水等の発生時における適切な対応等

を進めることが必要であると示しています。

新築建築物については、浸水リスクの低い場所への電気設備の設置、マウンドアップ（出入口等の床面の位置が設定浸水深よりも高い位置となるように、出入口等の床面の嵩上げや、敷地全体の盛土等を行うこと。）等の対策を講じることを推奨し、上記の対策を事後的に講じることが困難なケースが多い既存建築物については、**止水板等の設置を行い対策を講じることを推奨**しています。



フラッドセーフ
ライト

ガイドライン

止水板とは

JIS等級

1段タイプ

2段タイプ

メカニズム

かんたん
2ステップ

止水性

軽くて強い

簡易工事

設置条件

設置場所

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

ドアセンサー
回避部材

お客様の声

設置例

標準仕様図

1段タイプ

2段タイプ

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

保管方法

メンテナンス
交換パッキン

フラッドセーフ
パネル

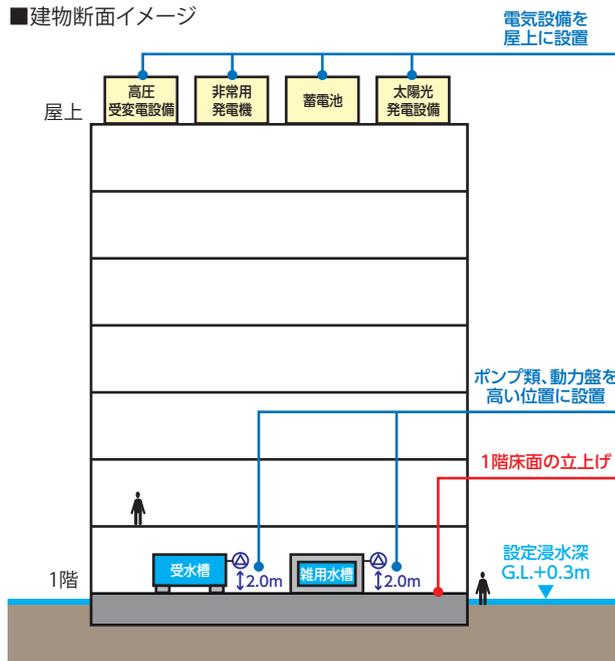
新築建築物

- 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置
- マウンドアップ（出入口床面の嵩上げ）

既存建築物

- 止水板等の設置

■建物断面イメージ



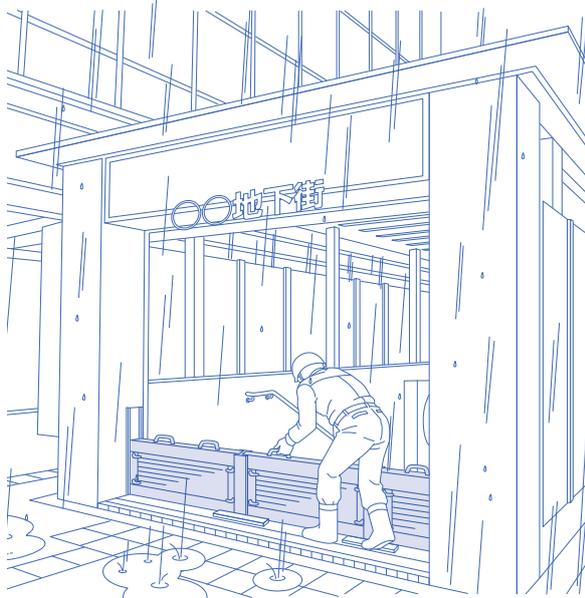
<止水板で建物内への浸水を防止>



止水板とは

ゲリラ豪雨などによる浸水被害から大切な資産を守る

軽量、熱、衝撃・摩擦などに強く、成形・加工しやすいプラスチックの優れた特性に、タキロンシーアイが長年培ってきた技術とノウハウを融合。突然訪れる自然災害に備えて、ゲリラ豪雨などによる浸水被害から大切な資産を守る「フラッドセーフシリーズ」は止水性の高さはもちろん軽量で設置が非常に簡単です。



フラッドセーフ ライト	
ガイドライン	
止水板とは	
JIS等級	
製品	1段タイプ 2段タイプ
	メカニズム
特長	かんたん 2ステップ 止水性 軽くて強い 簡易工事
設置	設置条件 設置場所
オプション 部材	サイド柱 サイド柱L 屋内用 サイド柱 中間柱
	ドアセンサー 回避部材
	お客様の声
	設置例
	標準仕様図
設置方法	1段タイプ 2段タイプ サイド柱 サイド柱L 屋内用 サイド柱 中間柱
保管方法	
	メンテナンス 交換パッキン フラッドセーフ パネル

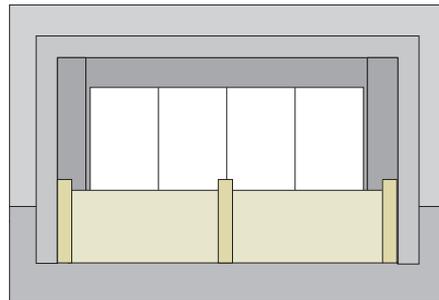
止水板とは？

近年、気候変動やヒートアイランド現象が要因と考えられる都市部を中心とした非常に激しい降雨現象が多く発生しており、局地的かつ短時間に発生する猛烈な降雨はゲリラ豪雨と呼ばれています。なかでもゲリラ豪雨は、排水処理能力を超えることによる浸水被害（内水氾濫）や河川氾濫による浸水被害（外水氾濫）を引き起こすことから、浸水防止対策に注目が集まっています。

止水板とは、この浸水防止対策に用いられる様々な止水製品のひとつです。

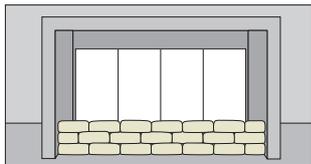
止水製品の種類

■脱着式（タキロンシーアイのフラッドセーフシリーズ）

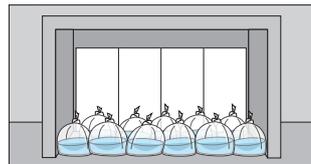


土のうや水のう、角落としといった旧来から用いられてきたものから、スイング式・スライド式・脱着式（2方枠・3方枠）、防水扉（4方枠）、シート式等があります。タキロンシーアイのフラッドセーフシリーズは、脱着式に該当します。

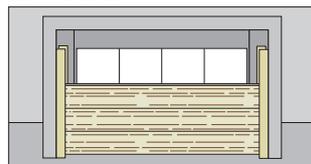
■土のう



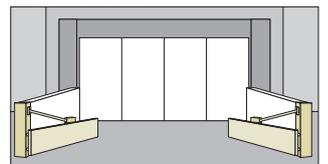
■水のう



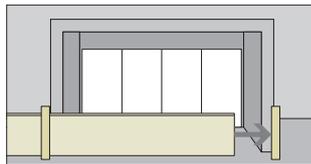
■角落とし



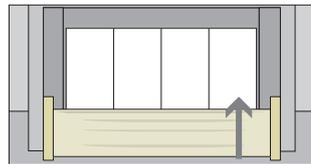
■スイング式



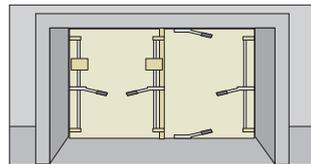
■スライド式



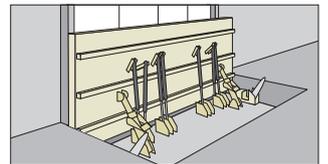
■シート式



■防水扉



■起伏式



JIS A 4716「浸水防止用設備建具型構成部材」の 漏水量による等級に関して

浸水防止用設備はメーカーによって仕様や止水性能は様々です。浸水防止用設備を選定する際に性能を比較できるようにするため、2019年11月に「JIS A 4716 浸水防止用設備建具型鋼製部材」が制定されました。この規格は**防水シャッターや防水扉などの建具型と呼ばれる浸水防止用設備**に関する規格であり、浸水防止用設備の構造や材料、止水試験方法や**漏水量の等級の区分等が記載**されています。

漏水量の等級は0.001以下～0.2[m³/(h・m²)]の範囲において**6段階の等級に区分**されます。浸水対策ガイドラインにもこの規格および漏水量の等級について言及されており、上記の「建具型の浸水防止用設備」はもとより、**土のうや脱着式止水板等が分類される「脱着型の浸水防止用設備」**についても「JIS A 4716 浸水防止用設備建具型鋼製部材」に準拠して漏水量の等級比較が可能であることが記載されています。

JIS A 4716の漏水量による等級			漏水量イメージ
等級	漏水量[m ³ /(h・m ²)]	漏水量[L/(h・m ²)]	
Ws-6	0.001以下	1以下	1L牛乳パック 1本以下 
Ws-5	0.001を超え0.004以下	1を超え4以下	2Lペットボトル 半分～2本 
Ws-4	0.004を超え0.01以下	4を超え10以下	—
Ws-3	0.01を超え0.02以下	10を超え20以下	2Lペットボトル 5本～10本 
Ws-2	0.02を超え0.05以下	20を超え50以下	—
Ws-1	0.05を超え0.2以下	50を超え200以下	ドラム缶 1/4～1本 



フラッドセーフライต์1段タイプ

→P.7

JIS A 4716
Ws-6等級に相当

(一財) 建材試験センターにおける
品質性能試験報告書発行番号
第20A1908号



フラッドセーフライต์2段タイプ

→P.9

JIS A 4716
Ws-5等級に相当

(一財) 建材試験センターにおける
品質性能試験報告書発行番号
第20A1909号



フラッドセーフパネル

→P.41

JIS A 4716
Ws-6等級に相当

フラッドセーフ
ライต์

ガイドライン

止水板とは

JIS等級

1段タイプ

2段タイプ

メカニズム

かんたん
2ステップ

止水性

軽くて強い

簡易工事

設置条件

設置場所

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

ドアセンサー
回避部材

お客様の声

設置例

標準仕様図

1段タイプ

2段タイプ

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

保管方法

メンテナンス
交換パッキン

フラッドセーフ
パネル

フリップボードサイフライイト



「フラッドセーフライト」で手軽に止水対策!

通用口

サッシ等が無くてもサイド柱で設置できます。



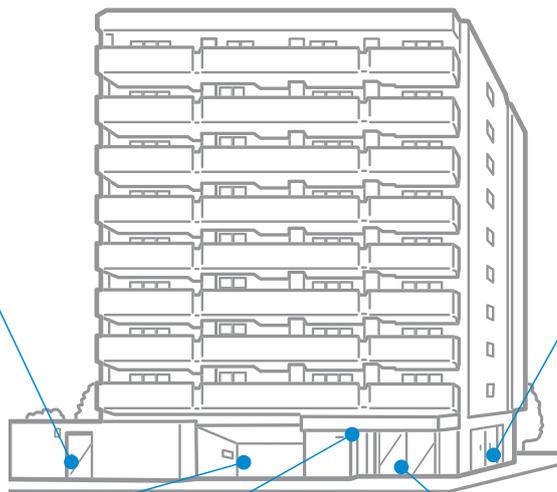
出入口

外開き扉でも屋内用サイド柱で設置できます。



地下駐車場入口

幅が広い場所でも中間柱で設置できます。



エントランス(自動ドア)

建物の美観を損なわずに設置できます。



エレベーター

下方の駆動部を守ります。

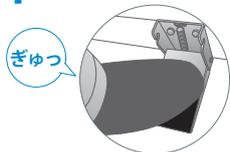


P.12

かんたん、
しっかり

1 ペダルを踏んで

ぎゅっ



2 レバーを倒す

カチッ



らくらく
2
ステップ



P.13

優れた止水性

1段タイプ(2,000mm幅)の場合
漏水量 $1\text{l}/(\text{h}\cdot\text{m}^2)$ 以下
(土のうの約3,000倍)

JIS A 4716
Ws-6等級に相当



P.15

軽くて強い

1段タイプ(1,000mm幅)の場合
1枚 約7.3kg

土のうの場合
約18kg×30個以上



P.16

簡易工事

工事期間も短く、費用もおさえることができます。
(工事不要でそのまま設置できる場合もあります。)

設置条件

→ P.17 ~

設置場所

→ P.19 ~

設置例

→ P.27 ~

「フラッドセーフライト」

軽量パネル止水板

フラッドセーフライト1段タイプ

高さ
500mm

NETIS登録製品(登録番号KK-170032-A)



水深 **50cm**
対応



オプション部材

- サイド柱 (P.21)
- サイド柱 L (P.22)
- 屋内用サイド柱 (P.23)
- 中間柱 (P.24)
- 自動ドアセンサー回避部材 (P.25)
- 交換用止水パッキン (P.39)

製品仕様

パネル: 中空ポリカーボネート 枠: アルミ型材(厚さ: 45mm) パネル色相: グリーンフロスト パッキン: EPDM(厚さ: 10mm)

品番

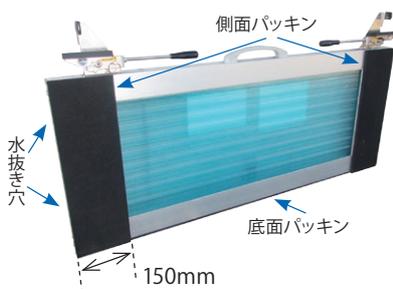
FLN45 標準品

FLT45 受注生産品



※製品幅が1,300mm以下の場合、取手は1つになります。

(製品裏面)



価格(材料価格・税別)

※各パネルの対応間口を必ずご確認ください。

	対応間口幅 (mm)	製品幅 (mm)	製品高さ (mm)	重量 (kg)	価格 (1枚当り)
標準品	700~950	1,000	500	7.3	260,000 円/枚
	951~1,150	1,200		8.1	265,000 円/枚
	1,151~1,350	1,400		8.9	270,000 円/枚
	1,351~1,550	1,600		9.7	275,000 円/枚
	1,551~1,750	1,800		10.5	280,000 円/枚
	1,751~1,950	2,000		11.3	285,000 円/枚
受注生産品	650~950	700~1,000	200~500	~7.3	305,000 円/枚
	951~1,150	1,001~1,200		~8.1	310,000 円/枚
	1,151~1,350	1,201~1,400		~8.9	315,000 円/枚
	1,351~1,550	1,401~1,600		~9.7	320,000 円/枚
	1,551~1,750	1,601~1,800		~10.5	325,000 円/枚
	1,751~1,950	1,801~2,000		~11.3	330,000 円/枚
	1,951~2,150	2,001~2,200		~12.1	335,000 円/枚
	2,151~2,350	2,201~2,400		~12.9	340,000 円/枚

※受注生産品納期: 4週間

※受注生産品の製品幅・製品高さは1mm単位で調整可能です。

※2段タイプ (FLJ45, FLG45) とつなぎ合わせることは出来ません。

※標準品の対応間口幅の範囲内であっても、両側や片側が壁の場合は受注生産品となる場合があります。

※受注生産品の製品幅は、対応間口幅+50mm(左 25mm、右 25mm) でご注文ください。

特長

→ P.12 ~

設置条件

→ P.17 ~

設置場所

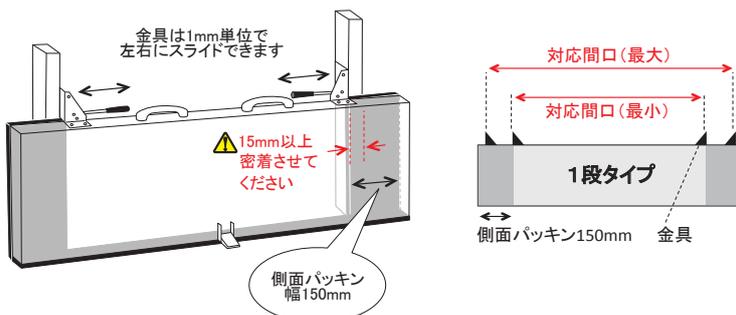
→ P.19 ~

で手軽に止水対策!

フラッドセーフライト 1 段タイプはできるだけ多くの間口に対応できるように側面パッキンの幅を少し広め(150mm)に設計しています。

▲金具をスライドさせ、側面パッキンと固定面が幅15mm以上密着するようにセットしてください。

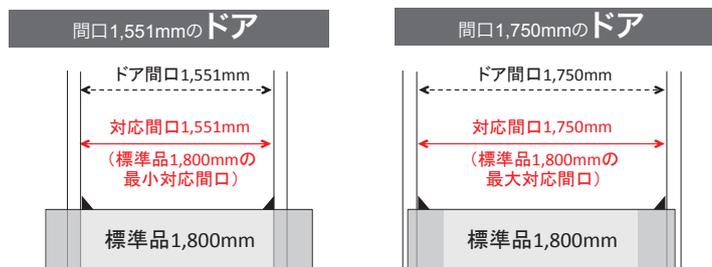
※最低、幅15mm密着していれば止水可能ですが、受注生産品は幅25mm密着するように製作します。



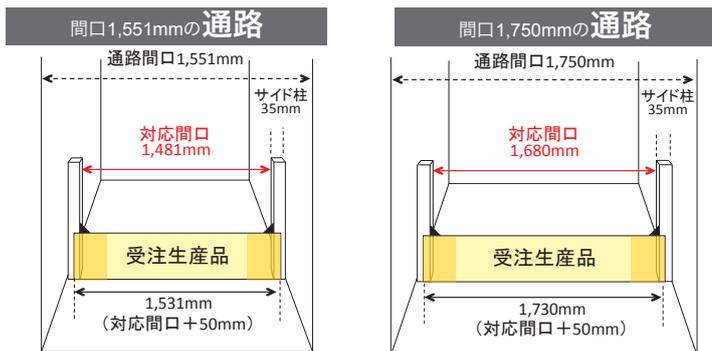
製品の幅サイズ選択時の注意

対応間口幅

設置したい場所の間口寸法は同じでも、設置する場所によって対応間口は異なります。オプション材(サイド柱など)を用いる場合は、オプション材の幅を差し引いたものが対応間口となりますので、製品のサイズ選択時には十分にご注意ください。

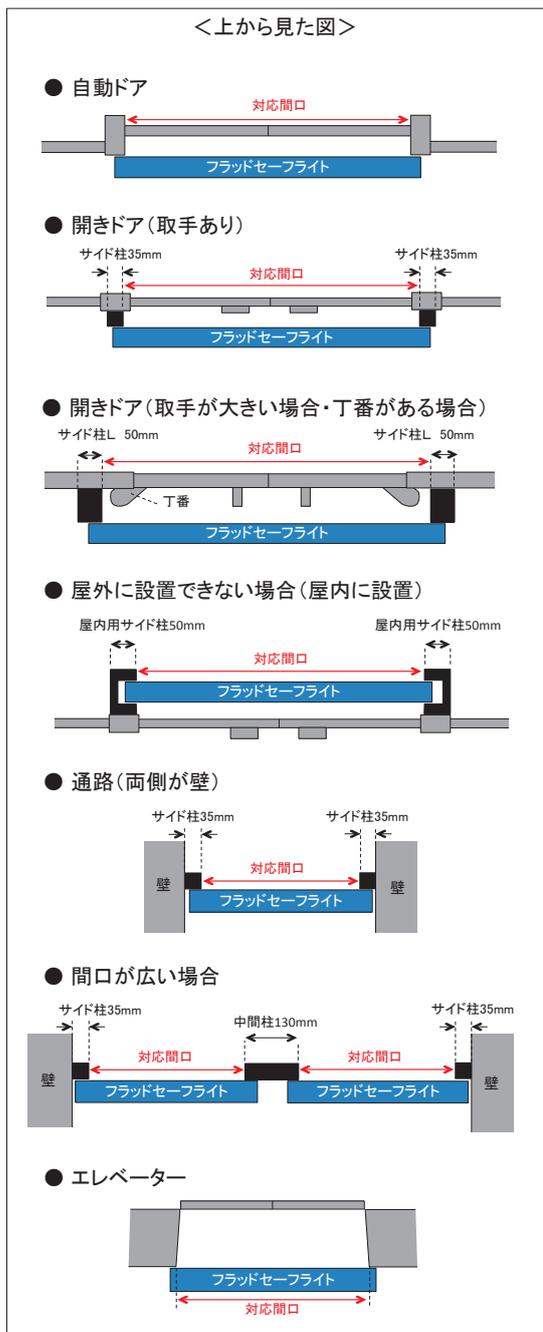


ドアは標準品が合う場合が多いですが通路などで両側や片側が壁の場合は受注生産品となる場合があります。



対応間口1,481mmは標準品1,800mmの対応間口の範囲外のため、不可。また、製品幅が通路幅より大きくなるため、不可。

対応間口1,680mmは標準品1,800mmの対応間口の範囲内ではあるが、製品幅が通路幅より大きくなるため、不可。



フラッドセーフライト	
ガイドライン	
止水板とは	
JIS等級	
1段タイプ	製品
2段タイプ	
メカニズム	
かんたん2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	設置
設置条件	
設置場所	
サイド柱	オプション部品
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
ドアセンサー回避部材	
お客様の声	
設置例	
標準仕様図	
1段タイプ	設置方法
2段タイプ	
サイド柱	
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
保管方法	
メンテナンス交換パッキン	
フラッドセーフパネル	

オプション部材

→ P.21 ~

設置方法

→ P.32

保管・メンテナンス

→ P.38 ~

「フラッドセーフライト」

軽量パネル止水板

受注生産品

フラッドセーフライト2段タイプ

高さ
1,000mm

上下に連結することで、最大1m水深まで対応可能に！



(一財) 建材試験センターにおける
品質性能試験報告書発行番号
第 20A1909 号

JIS A 4716
Ws-5等級
に相当

水深 **1m**
対応



オプション部材

サイド柱 (P.21)
サイド柱 L (P.22)
屋内用サイド柱 (P.23)
交換用止水パッキン (P.39)

製品仕様

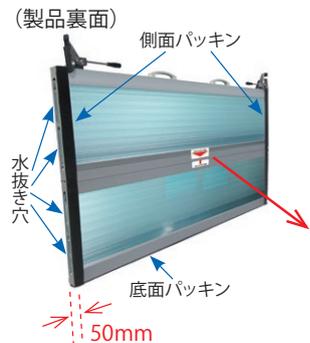
パネル: 中空ポリカーボネート 枠: アルミ型材 (厚さ: 45mm) パネル色相: グリーンフロスト パッキン: EPDM (厚さ: 10mm)

品番

FLJ45 (上段パネル) **受注生産品**
FLG45 (下段パネル) **受注生産品**



※製品幅が1,300mm以下の場合、取手は1つになります。



裏面の目印シールで
合わせやすい!



価格 (材料価格・税別)

※各パネルの対応間口を必ずご確認ください。

対応間口幅 (mm)	製品幅 (mm)	製品高さ (mm)	重量 (kg)	価格 (上下セット)	価格 (1枚当り)
650~950	700~1,000	502~1,000 (上段251~500 下段251~500)	~6.8	575,000 円/セット	294,000円/枚
			~6.5		281,000円/枚
951~1,150	1,001~1,200		~7.6	580,000 円/セット	296,000円/枚
			~7.4		284,000円/枚
1,151~1,350	1,201~1,400		~8.5	585,000 円/セット	299,000円/枚
			~8.5		286,000円/枚
1,351~1,550	1,401~1,600		~9.3	590,000 円/セット	301,000円/枚
			~9.5		289,000円/枚
1,551~1,750	1,601~1,800		~10.2	595,000 円/セット	304,000円/枚
			~10.5		291,000円/枚
1,751~1,950	1,801~2,000	~11.0	600,000 円/セット	306,000円/枚	
		~11.5		294,000円/枚	

※上段・下段のセット販売となります。片方だけの注文は出来ません。

※納期: 4週間

※製品幅は1mm単位で対応可能です。

※上段と下段は別々に梱包して出荷いたします。

※必ず上段と下段を連結した状態でご使用ください。

※片方だけの使用では、安全性や機能が保持できません。

※1段タイプ (品番FLN45,FLT45) と連結することは出来ません。

※使用後は分割した状態で保管ください。

※製品幅は、対応間口幅+50mm (左 25mm、右 25mm) でご注文ください。

特長

→ P.12 ~

設置条件

→ P.17 ~

設置場所

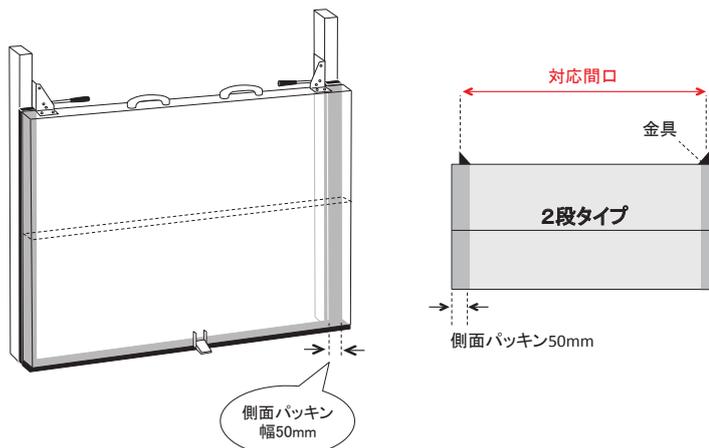
→ P.19 ~

で手軽に止水対策!

フラッドセーフライト 2段タイプは
全て受注生産品となりますので、
お客様の希望される寸法で製作いたします。

※最低、幅15mm密着していれば止水可能ですが、
幅25mm密着するように製作します。

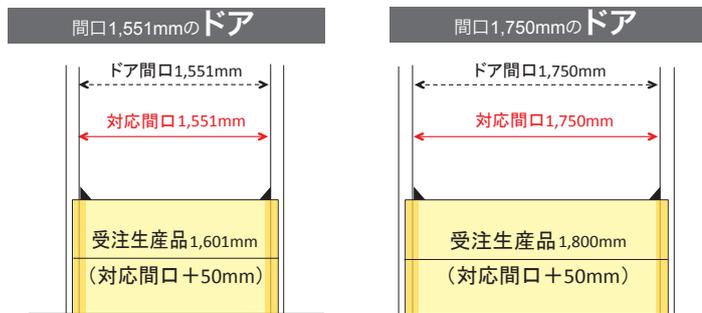
水深1mにおける水圧の影響を小さくするため、
パッキンの幅は1段タイプよりせまくなって
おります。(50mm幅)
1段タイプのように対応間口に範囲(最小・最大)は
ありませんので、他の幅の間口には設置できません。
ご注意ください。



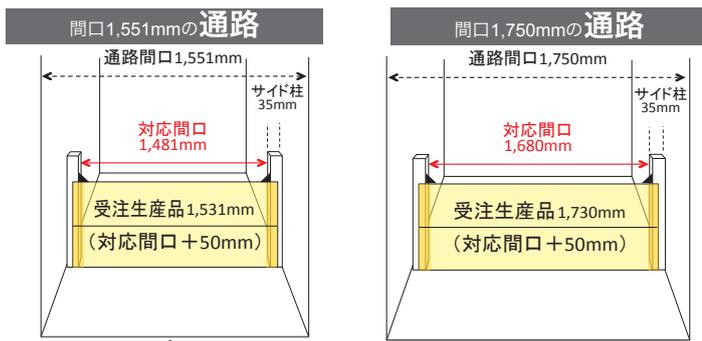
製品の幅サイズ選択時の注意

対応間口幅

設置したい場所の間口寸法は同じでも、設置する場所によって対応間口は異なります。
オプション材(サイド柱など)を用いる場合は、**オプション材の幅を差し引いたものが対応間口**
となりますので、製品のサイズ選択時には十分にご注意ください。

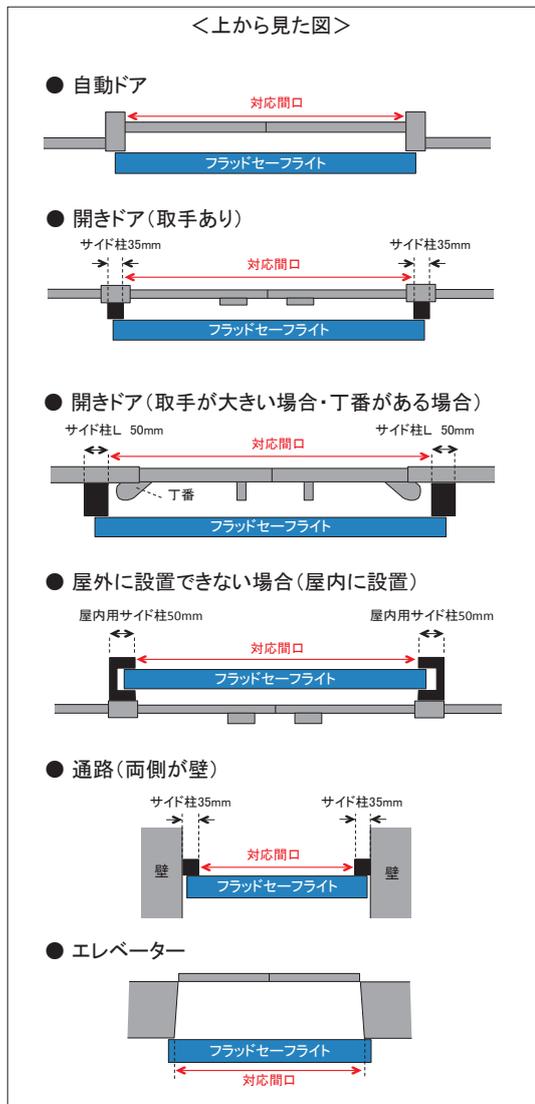


2段タイプの製品幅は
対応間口幅+50mmで
ご注文ください。



製品幅が通路幅より大きくなるため、不可。

製品幅が通路幅より大きくなるため、不可。



オプション部材

→ P.21 ~

設置方法

→ P.32

保管・メンテナンス

→ P.38 ~

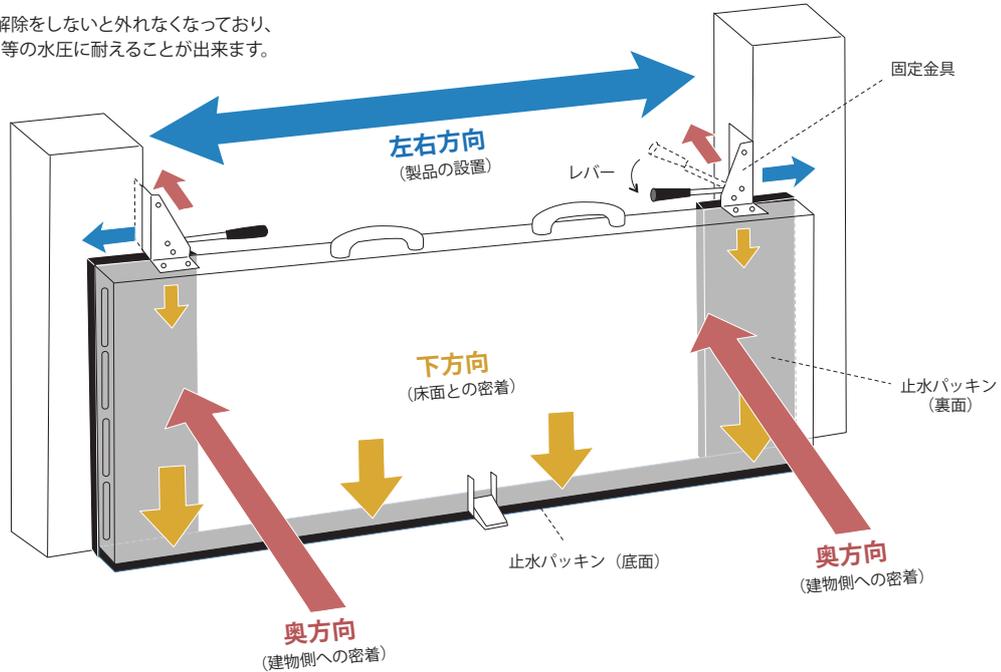
フラッドセーフ ライト	
ガイドライン	
止水板とは	
JIS等級	
1段タイプ	製品
2段タイプ	
メカニズム	
かんたん 2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	設置
設置条件	
設置場所	
サイド柱	オプション 部材
サイド柱L	
屋内用 サイド柱	
中間柱	
ドアセンサー 回避部材	設置例
お客様の声	
標準仕様図	設置方法
1段タイプ	
2段タイプ	
サイド柱	
サイド柱L	保管方法
屋内用 サイド柱	
中間柱	
メンテナンス 交換パッキン	フラッドセーフ パネル
フラッドセーフ パネル	

フラッドセーフライト 止水のメカニズム

① レバーを倒して3面に強力密着

レバーを倒すと固定金具から**3方向(左右・下・奥)**に力がかかり、**3つの面**にがっちり固定されます。固定時に止水パッキンが押しつぶされて下地にぴったり密着することで、高い止水性を発揮します。

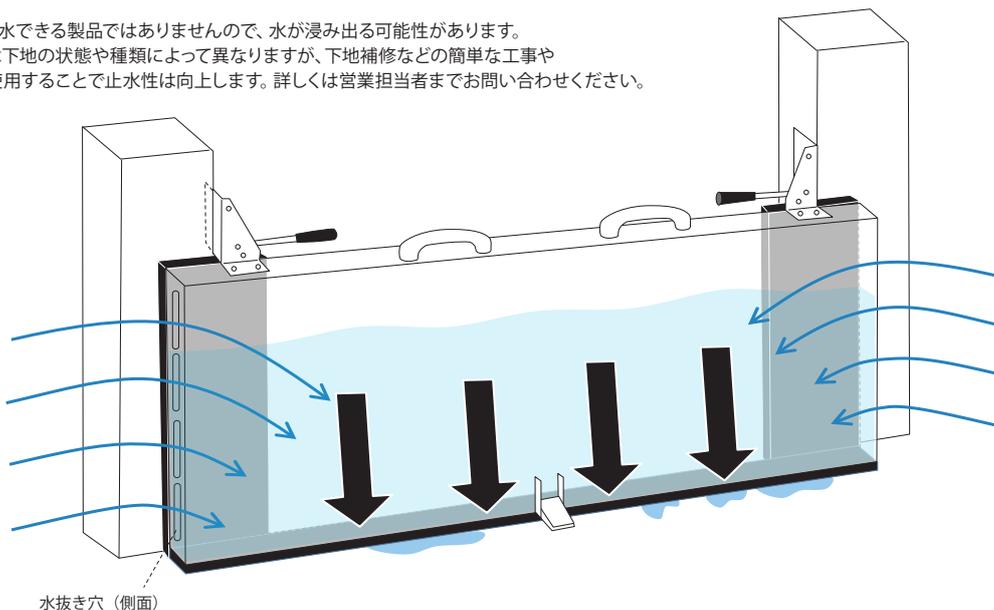
※固定後はロック解除をしないと外れなくなっており、金属止水板と同等の水圧に耐えることが出来ます。



② 水の力を利用して、より高い止水性を発揮

内部が空洞になっているため一人でも持ち運びしやすい軽さとなっていますが、浸水時に側面(水抜き穴)から内部に水が流入することで重さが増す構造になっています。内部に流入した水の重さで底面止水パッキンにより力が加わり、止水性が高まります。

※完全に止水できる製品ではありませんので、水が浸み出る可能性があります。漏水量は下地の状態や種類によって異なりますが、下地補修などの簡単な工事や部材を使用することで止水性は向上します。詳しくは営業担当者までお問い合わせください。



設置条件

→ P.17 ~

設置場所

→ P.19 ~

止水性

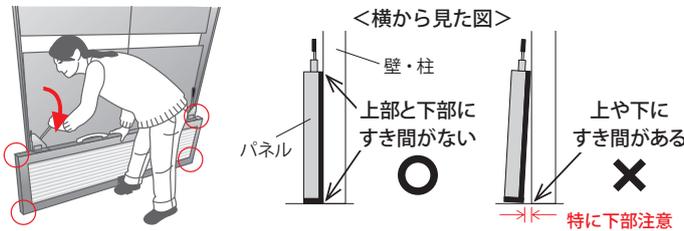
→ P.13 ~

フラッドセーフライトの特長その1

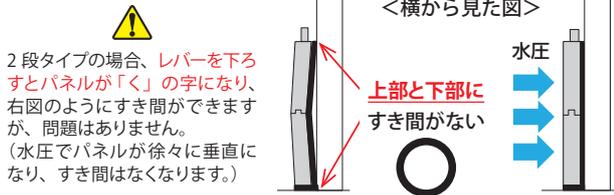
かんたんに、しっかり設置できる



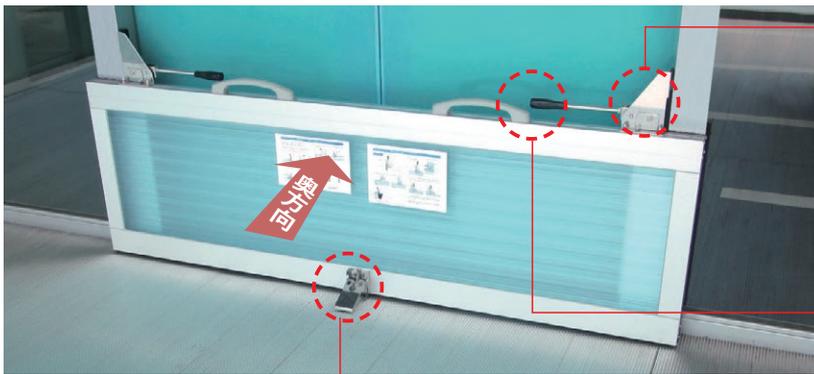
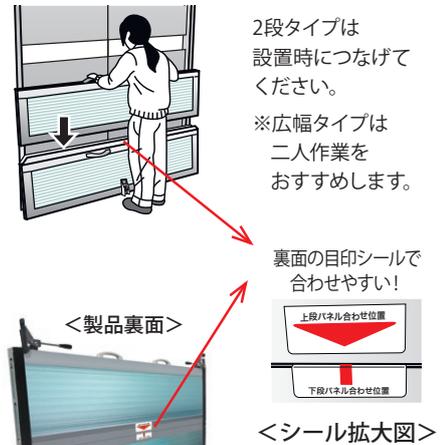
パネルの上部と下部に
すき間が空かないように注意してください。



2段タイプ:設置時のすき間について

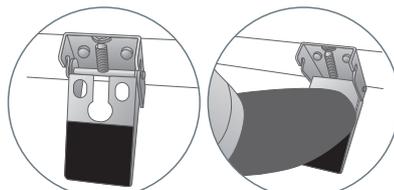


2段タイプ:裏面の目印シールについて



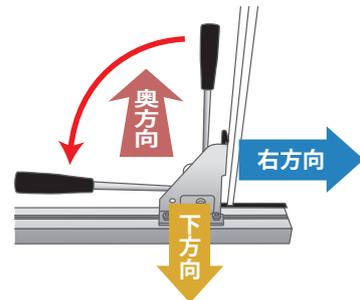
フットペダル

フットペダルを踏むことで側面パッキンを奥方向に圧縮。



※製品を固定させる機能はありませんので、ペダルから足を離すと戻ってきます。

固定金具



左右の固定金具のレバーを90°倒すことで止水パネルを、左右方向(製品の設置)・下方向(床面との密着)・奥方向(建物側への密着)に圧縮。

レバー

設置方法

→ P.32 ~

フラッドセーフライト	
ガイドライン	
止水板とは	
JIS等級	
1段タイプ	製品
2段タイプ	
メカニズム	
かんたん2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	
設置条件	設置
設置場所	
サイド柱	オプション部品
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
ドアセンサー回避部材	
お客様の声	
設置例	
標準仕様図	
1段タイプ	設置方法
2段タイプ	
サイド柱	
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
保管方法	
メンテナンス交換パッキン	
フラッドセーフパネル	

フラッドセーフライトの特長 その2

2種類のパッキンで優れた止水性

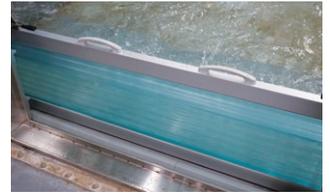
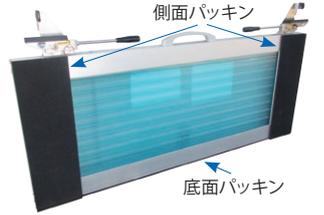
フラッドセーフライト
ガイドライン
止水板とは
JIS等級
1段タイプ
2段タイプ
メカニズム
かんたん2ステップ
止水性
軽くて強い
簡易工事
設置条件
設置場所
サイド柱
サイド柱L
屋内用サイド柱
中間柱
ドアセンサー回避部材
お客様の声
設置例
標準仕様図
1段タイプ
2段タイプ
サイド柱
サイド柱L
屋内用サイド柱
中間柱
保管方法
メンテナンス交換パッキン
フラッドセーフパネル



金属止水板と同等の水圧に耐えます。



パネル内に水が流入して自重が重くなることで、底面の止水パッキンが押し潰され、さらに止水性が向上します。



半透明なので屋内から水深が確認できます。

止水性試験

試験方法 JIS A 4716に準拠

平滑な金属製下地にフラッドセーフライトを設置し、水深別に漏水量を計測。(静水圧)

フラッドセーフライトは一般財団法人建材試験センター立ち合いのもと、JIS A 4716に準拠した試験方法で止水試験を行っております。

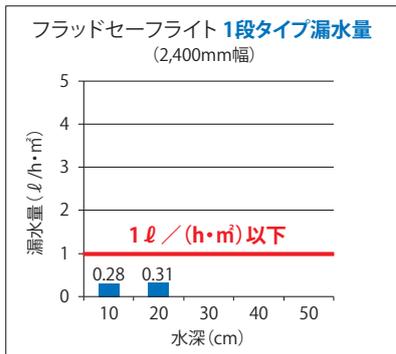
JIS A 4716の漏水量による等級		
漏水量 [m ³ / (h・m ²)]	漏水量 [L / (h・m ²)]	等級
0.001以下	1以下	Ws-6
0.001を超え0.004以下	1を超え4以下	Ws-5
0.004を超え0.01以下	4を超え10以下	Ws-4
0.01を超え0.02以下	10を超え20以下	Ws-3
0.02を超え0.05以下	20を超え50以下	Ws-2
0.05を超え0.2以下	50を超え200以下	Ws-1

←相当 1段タイプ
←相当 2段タイプ

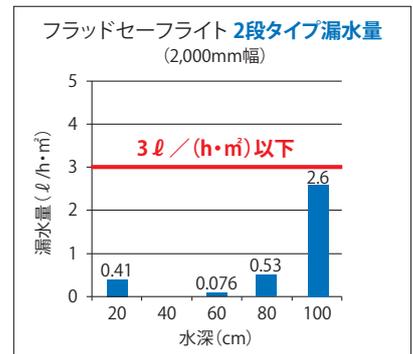
試験結果

※数値は試験値であり、保証値ではありません。
※試験結果は予告なく変更される場合があります。
水圧が弱い初期浸水(低水深)にも高い止水性能を発揮。

漏水量 0~3ℓ/(h・m²)の漏水量イメージ (水道に例えた場合)



JIS A 4716
Ws-6等級に相当
(一財) 建材試験センターにおける品質性能試験報告書発行番号
第20A1908号



JIS A 4716
Ws-5等級に相当
(一財) 建材試験センターにおける品質性能試験報告書発行番号
第20A1909号

フラッドセーフライト止水性試験(動画)

(社内試験: JIS A 4716 に準拠)

フラッドセーフライト 1段タイプ

<試験条件>
 水深 : 50cm
 サイズ : W2,000 × H500
 重量 : 11.3kg
 下地 : フラット

<試験結果>
 漏水量
 1L/(h・㎡)以下



全体



近接



定点

フラッドセーフライト 2段タイプ

<試験条件>
 水深 : 100cm
 サイズ : W2,000 × H1,000
 重量 : 11.0kg(上段)
 重量 : 11.5kg(下段)
 下地 : フラット

<試験結果>
 漏水量
 3L/(h・㎡)以下



全体



近接



定点

土のう (32個積み)

<試験条件>
 水深 : 30cm
 サイズ : 400 × 300 × 100mm
 (1個)
 重量 : 18kg × 32個 = 576kg
 下地 : フラット

<試験結果>
 漏水量
 約3,000~4,500L/(h・㎡)



全体

木製止水板 (角落としタイプ)

<試験条件>
 水深 : 50cm
 サイズ : W1,500 × H630
 (H210 × 3段積み)
 重量 : 4.6kg × 3枚 = 13.8kg
 下地 : フラット

<試験結果>
 漏水量
 約5,000L/(h・㎡)



全体

⚠ 完全に止水できる製品ではありません。(水がしみ出す可能性があります)



- しみ出た水が床面に広がるを防ぐ場合は、タオルなどを設置してください。
- 建物の構造や下地の種類・状態によって漏水量は異なります。
- 製品に変形や損傷があった場合は止水機能を保持できなくなりますので止水パッキンなどを定期的に点検してください。
- より高い止水性をお求めの場合は、別商品「フラッドセーフパネル」をご検討ください。

フラッドセーフライト	
ガイドライン	
止水板とは	
JIS等級	
1段タイプ	製品
2段タイプ	
メカニズム	
かんたん2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	
設置条件	設置
設置場所	
サイド柱	オプション部材
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
ドアセンサー回避部材	
お客様の声	
設置例	
標準仕様図	
1段タイプ	設置方法
2段タイプ	
サイド柱	
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
保管方法	
メンテナンス交換パッキン	
フラッドセーフパネル	

設置条件

→ P.17 ~

交換用止水パッキン

→ P.40

フラッドセーフパネル

→ P.41

フラッドセーフライトの特長 その3

お年寄りでも運べる軽さで強い

製品	ガイドライン
	止水板とは
	JIS等級
	1段タイプ
	2段タイプ
	メカニズム
特長	かんたん2ステップ
	止水性
	軽くて強い
	簡易工事
設置	設置条件
	設置場所
オプション部材	サイド柱
	サイド柱L
	屋内用サイド柱
	中間柱
	ドアセンサー回避部材
お客様の声	お客様の声
設置例	設置例
標準仕様図	標準仕様図
設置方法	1段タイプ
	2段タイプ
	サイド柱
	サイド柱L
	屋内用サイド柱
	中間柱
保管方法	保管方法
メンテナンス	メンテナンス
交換パック	交換パック
フラッドセーフパネル	フラッドセーフパネル

<フラッドセーフライト1段タイプの場合>

1000タイプで **約7.3kg**

2000タイプで **約11.3kg**

<土のう>
一袋 **約18kg**
(約32袋約580kg)



土のうは一袋が重いうえ、いくつも積み上げが必要。さらに濡れるとその重量は何倍にも重くなります。

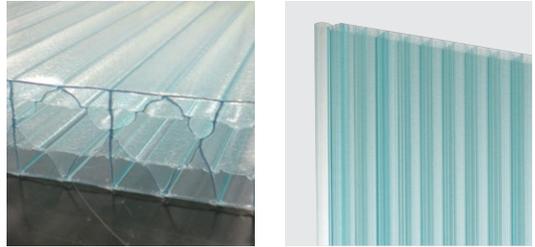
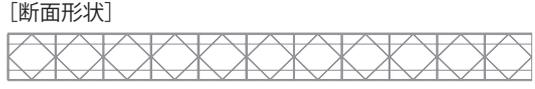
軽さと強さの秘密は、タキロンシーアイ独自の「ハニカム構造」

強く軽いポリカーボネートに、独自のハニカム中空構造をプラスすることで、軽さと強さをグレードアップしました。

ポリカーボネートの優れた性能

軽い・衝撃に強い・燃えにくい・熱に強い・
広い温度域で使用可能(-30~100℃)・
透明、意匠性が高い

独自のハニカム中空構造

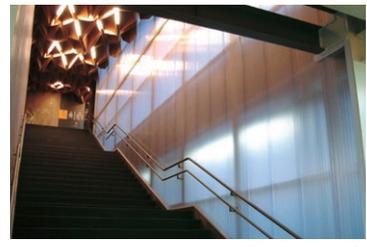


<ポリカーボネート使用例>

- ゴーグル、ヘルメット、ドライヤー、カーポート屋根、建物の壁面、採光面材など



格納庫



駅舎



土のうよりもはるかに「軽く」、金属製止水板と同等の「強さ」

フラッドセーフライトの特長その4

簡易工事で設置できる

工事期間も短く、費用もおさえることができます。

簡易工事

オプション部材使用

P.17

下地調整 (床・壁など)

P.19

工事なしでそのまま設置できる場合

設置条件①②③ (P.16~20) がすべて◎の場合

設置条件① 寸法など



そのまま
設置できる

● 下記規格内の寸法であること (図1参照)

A: 開口部の幅が700~2,350mm以内 (1段タイプ)
700~1,950mm以内 (2段タイプ)

B: サッシ部分などの奥行きが 30mm以上

C: サッシ部分などの幅が 15mm以上

D: 取手がBより出っ張らない

E: 取手が出っ張る場合、Eの寸法が
550mm以上であれば設置可 (1段タイプ)
1,050mm以上であれば設置可 (2段タイプ)

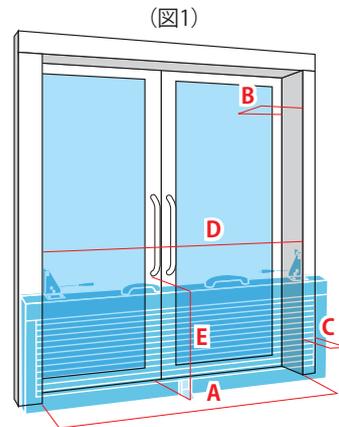
● エレベーター出入口の場合は
角度100°以下で間口1,200mm以下



簡易工事で
設置できる

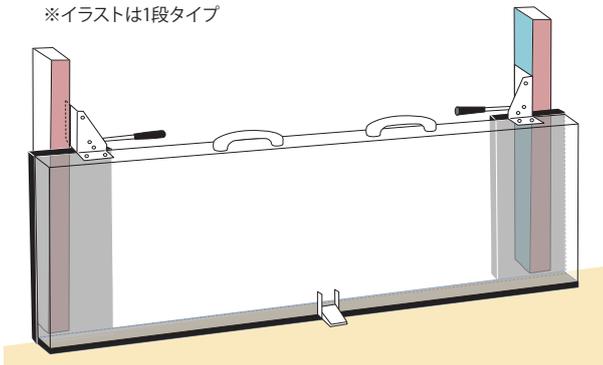
● 上記の規格以外の場合

→ オプション部材を使用 (P.17参照)



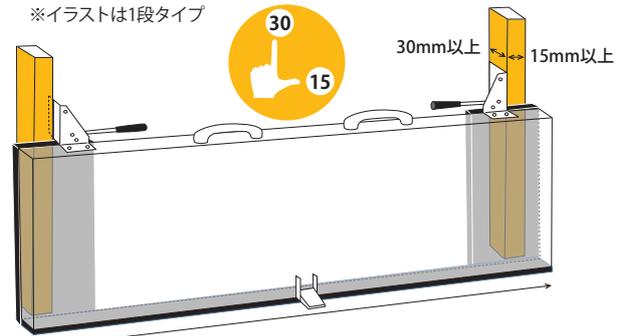
3つの面 正面 側面 底面 があり、
それぞれ著しい凹凸などがなく強度があること。

※イラストは1段タイプ



幅 15mm以上 & 奥行き 30mm以上 の
柱・壁 (固定面) があること。

※イラストは1段タイプ



※オプション部材「中間柱」で横に連結することができるので、
広い間口にも対応できます。

① 自動ドア

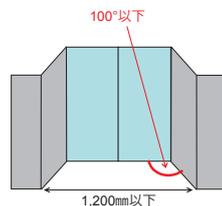


■ 納まり図 (上から見た場合)

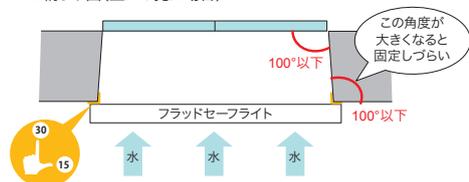


製品幅は標準品で
設置できるケースが多い

② エレベーター前



■ 納まり図 (上から見た場合)



※角度 (100°以下) の測定方法についてはP.42をご覧ください。

フラッドセーフ
ライト

ガイドライン

止水板とは

JIS等級

1段タイプ

2段タイプ

メカニズム

かんたん
2ステップ

止水性

軽くて強い

簡易工事

設置条件

設置場所

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

ドアセンサー
回避部材

お客様の声

設置例

標準仕様図

1段タイプ

2段タイプ

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

保管方法

メンテナンス
交換パッキン

フラッドセーフ
パネル

簡易工事(オプション部材使用)

②開きドア

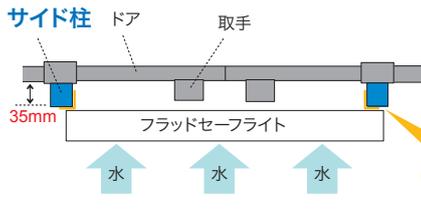
オプション部材「サイド柱」・「サイド柱L」を取り付けるケースが多い



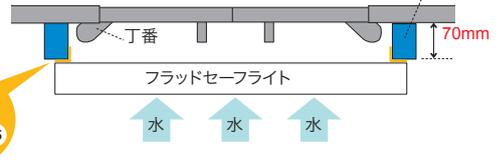
取手が大きい場合やドア下部に丁番などの部材がある場合



■納まり図(上から見た場合)



■納まり図(上から見た場合)



製品幅は標準品で設置できるケースが多い

③通路

オプション部材「サイド柱」を取り付けて設置する

<両側が壁の場合>



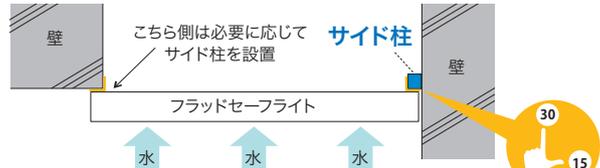
■納まり図(上から見た場合)



<片側のみ壁の場合>



■納まり図(上から見た場合)



製品幅は受注生産品になるケースが多い
標準品のサイズは200mm刻みのため、通路の幅とびったり合うケースが少ない

「サイド柱」使用時の注意

「サイド柱」を取り付ける面の高さが「サイド柱」の高さの2倍以上あること。
サイド柱はベースを設置した後、カバーを上から差し込む必要があるため、2倍の高さのスペースが必要となる。
※「サイド柱L」は上から差し込むタイプではないのでスペース不要。

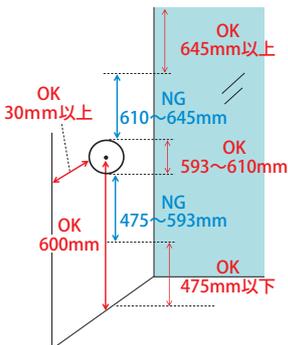
⑤自動ドア(自動ドアセンサーがある場合)

下記①②どちらかの条件を満たしていれば「自動ドアセンサー回避部材」は不要ですが、どちらも満たしていない場合は「自動ドアセンサー回避部材」が必要となります。

<①奥行き>
壁の外側からセンサーふちまでの奥行きが30mm以上ある場合。

<②高さ>
床からセンサー中央までの高さがちょうど600mmである場合。または、センサーのふちが床から475mm以下か645mm以上の高さにある場合。

自動ドアセンサー回避部材



→P.25

簡易工事(オプション部材使用)

④屋内に設置したい場合

⑤通路に設置できない場合

オプション部材「屋内用サイド柱」を取り付ける

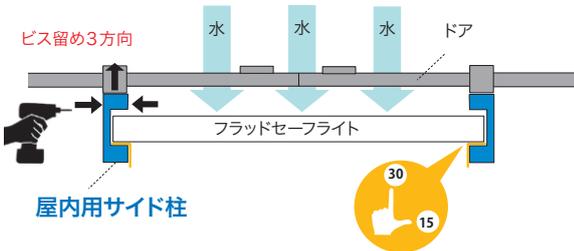


製品幅は
受注生産品になるケースが多い

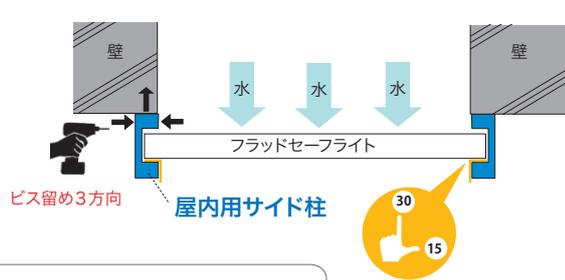
標準品のサイズは200mm刻みのため、
ぴったり合うケースが少ない
(屋内用サイド柱は、サイド柱に比べて
取り付け場所が限定されることが多い)



■納まり図(上から見た場合)



■納まり図(上から見た場合)



- 金属製サッシやコンクリート面に設置してください。
- ビスを打てない壁や(石こうボードなど)の場合は補強してください。

⑥間口が広い場合

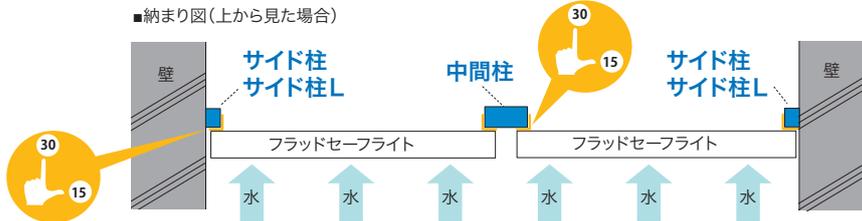
オプション部材「サイド柱」または「サイド柱L」・「中間柱」を取り付けて設置する



製品幅は
受注生産品になるケースが多い

複数枚連結する場合は
すべて同じ幅にそろえる場合、
標準品のサイズは200mm刻みのため
ぴったり合うケースが少ない。

■納まり図(上から見た場合)



サイド柱

サイド柱L

屋内用サイド柱

中間柱



→P.21

→P.22

→P.23

→P.24

フラッドセーフ
ライト

ガイドライン

止水板とは

JIS等級

1段タイプ

2段タイプ

メカニズム

かんたん
2ステップ

止水性

軽くて強い

簡易工事

設置条件

設置場所

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

ドアセンサー
回避部材

お客様の声

設置例

標準仕様図

1段タイプ

2段タイプ

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

保管方法

メンテナンス
交換パッキン

フラッドセーフ
パネル

設置条件② 下地(床)



そのまま
設置できる

- 傾斜・勾配が少ない(1/10以下)
- モルタル・コンクリート(強度があり不陸・割れ・段差がない)
- タイルの場合
目地が広く(幅5mm以上)、浅い(深さ1.5mm以下)



簡易工事で
設置できる

- 不陸・段差などがある場合や、傾斜・勾配が1/10以上ある場合
- タイルの場合
目地が狭く(幅5mm以下)、深い(深さ1.5mm以上)



- 溝付き金属製下地(泥落とし)
→ 下記工事例参照



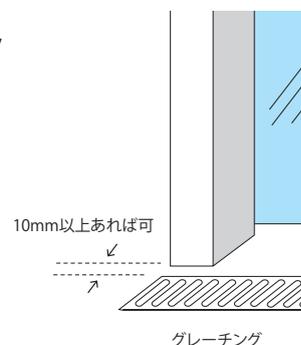
撤去が必要

- アスファルト・点字ブロック・インターロッキングブロック
→ 撤去後、モルタル等で下地調整

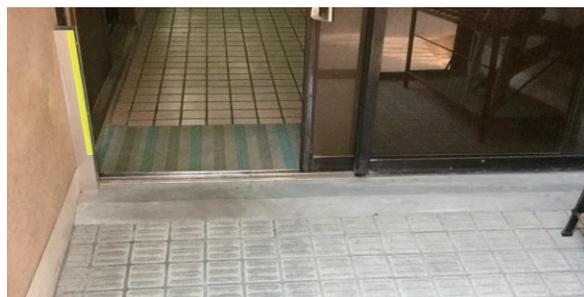


設置できない

- グレーチング(ただし柱との間が10mm以上あれば可)
- オプション部材「中間柱」を使用する場合
アンカー取付部の強度がない、打設スペースがない、
段差があるなど



簡易工事(下地調整:床)



タイル目地の段差調整(モルタル打設)



モルタル下地の不陸調整
(塗床と珪砂を混合。セルフレベルング材でも可。)



タイル目地の不陸調整(SUSフラットバー取付) ※不陸が大きい



溝付き金属製下地(泥落とし)の一部をカットしてコの字型のアルミバーを取付。

フラッドセーフ
ライト

ガイドライン

止水板とは

JIS等級

1段タイプ

2段タイプ

メカニズム

かんたん
2ステップ

止水性

軽くて強い

簡易工事

設置条件

設置場所

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

ドアセンサー
回避部材

お客様の声

設置例

標準仕様図

1段タイプ

2段タイプ

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

保管方法

メンテナンス
交換パッキン

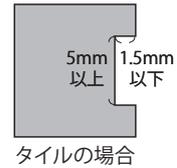
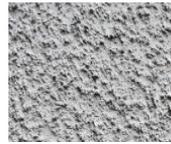
フラッドセーフ
パネル

設置条件③ 下地（壁・柱など）



そのまま
設置できる

- 金属・石・モルタル・コンクリート
(吹き付け壁など)
(強度があり不陸・割れ・段差がない)
- コーナー部分が直角
- タイルの場合
目地が広く(幅5mm以上)、浅い(深さ1.5mm以下)



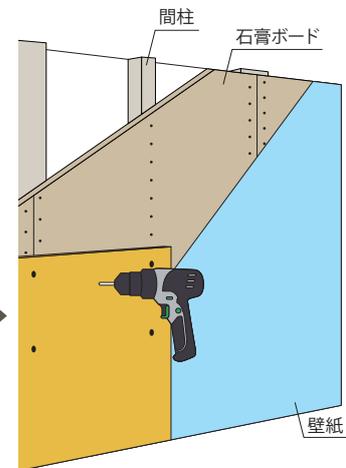
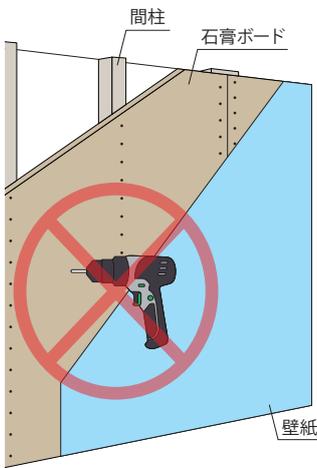
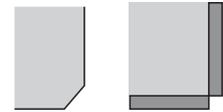
簡易工事で
設置できる

- 開きドア・通路・屋内(扉の内側)に設置したい場合
→ オプション部材を使用(P.17参照)
- タイルの場合
目地が狭く(幅5mm以下)、深い(深さ1.5mm以上)
→ L字型アングル、シーリング材などを使用

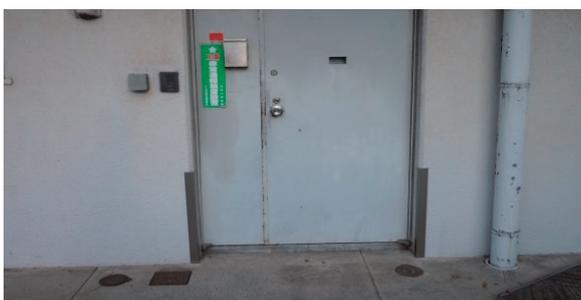


その他工事で
設置できる

- コーナー部分が直角でない
→ L字型アングルなどを使用
- オプション部材(サイド柱など)を使用する場合
ビスを打てない壁(石膏ボード)やぜい弱な材質(木など)
→ 補強材(金属製)を使用



簡易工事(下地調整:柱・壁など)



直角でない壁にL字型アングルを取付。



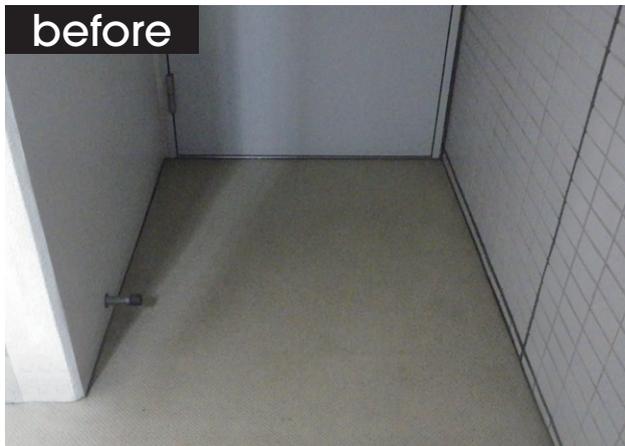
水切りの一部を切断し、サイド柱を取付。

フラッドセーフ
ライト

ガイドライン	
止水板とは	
JIS等級	
1段タイプ	製品
2段タイプ	
メカニズム	
かんたん 2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	
設置条件	設置
設置場所	
サイド柱	オプション 部材
サイド柱L	
屋内用 サイド柱	
中間柱	
ドアセンサー 回避部材	
お客様の声	
設置例	
標準仕様図	
1段タイプ	設置 方法
2段タイプ	
サイド柱	
サイド柱L	
屋内用 サイド柱	
中間柱	
保管方法	
メンテナンス 交換パッキン	
フラッドセーフ パネル	

フラッドセーフライト専用 オプション部材 サイド柱

取り付けができなかった出入口もこれで解決！



品番

FLS01 (1段タイプ用) 標準品

FLS21 (2段タイプ用) 標準品

価格 (材料価格・税別)

セット販売品

フラッドセーフライトとセットでご注文ください。

(1段タイプ用)
20,000円 / 2本入り・セット

(2段タイプ用)
40,000円 / 2本入り・セット

特長

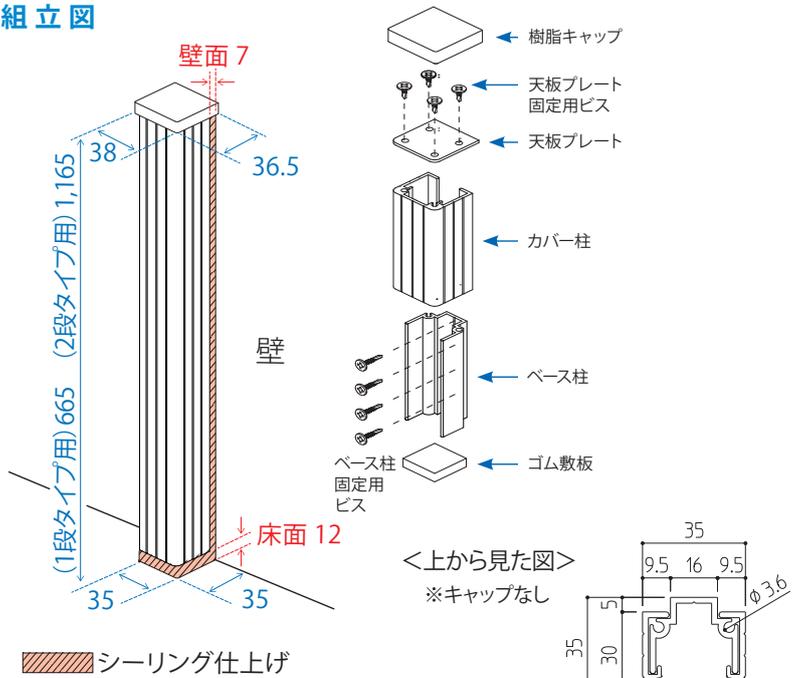
- 柱の角は緩やかなR仕上げ。柱径も35mmと小さく、通行の妨げになりにくい。
- 表面はマット仕上げに3本の縦ラインの落ち着いたデザイン。

製品仕様

- 2本組/セット
- 組み上がり寸法：
高さ665(1段タイプ用)・1,165(2段タイプ用)mm / 幅35mm / 奥行35mm
- 材質：アルミニウム
- 構成部品：
樹脂キャップ / 天板プレート / ベース柱 / カバー柱 / ゴム敷板 / 天板プレート固定用ビス / ベース柱 固定用ビス (2種類)

※変成シリコン系シーリング材にて処理してください。
下地に合わせてプライマーを選定してください。

組立図

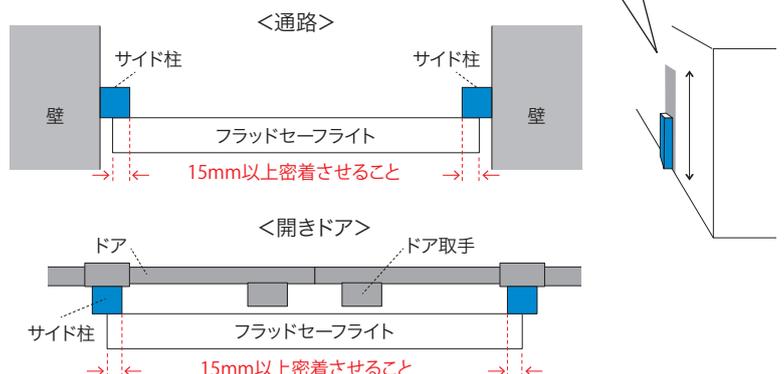


取り付けの例

<上から見た図>



※カバー柱を上からスライドして取り付ける構造のため、床から1,350(1段タイプ用)・2,350(2段タイプ用)mm以上の空間が必要です。

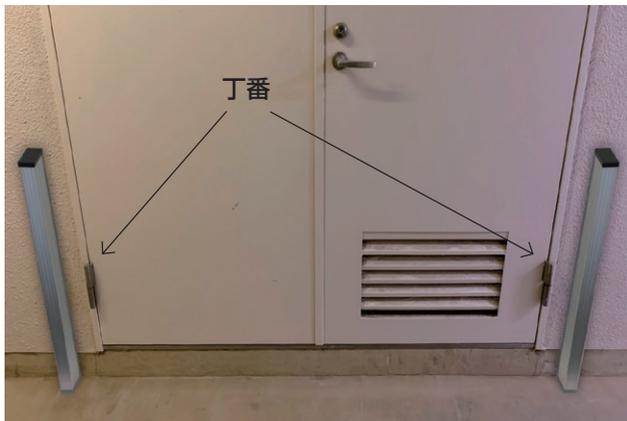


フラッドセーフライト
ガイドライン
止水板とは
JIS等級
1段タイプ
2段タイプ
メカニズム
かんたん2ステップ
止水性
軽くて強い
簡易工事
設置条件
設置場所
サイド柱
サイド柱L
屋内用サイド柱
中間柱
ドアセンサー回避部材
お客様の声
設置例
標準仕様図
1段タイプ
2段タイプ
サイド柱
サイド柱L
屋内用サイド柱
中間柱
保管方法
メンテナンス交換パッキン
フラッドセーフパネル

NEW

フラッドセーフライト専用オプション部材 サイド柱L

開き扉の取手や丁番の出幅が大きくてもこれで解決!



品番

FLS03 (1段タイプ用) 標準品

FLS23 (2段タイプ用) 標準品

価格 (材料価格・税別)

セット販売品

フラッドセーフライトとセットでご注文ください。

(1段タイプ用)

30,000円 / 2本入り・セット

(2段タイプ用)

60,000円 / 2本入り・セット

特長

- 開き扉の取手や丁番の出っ張りをかわすために取り付けます。

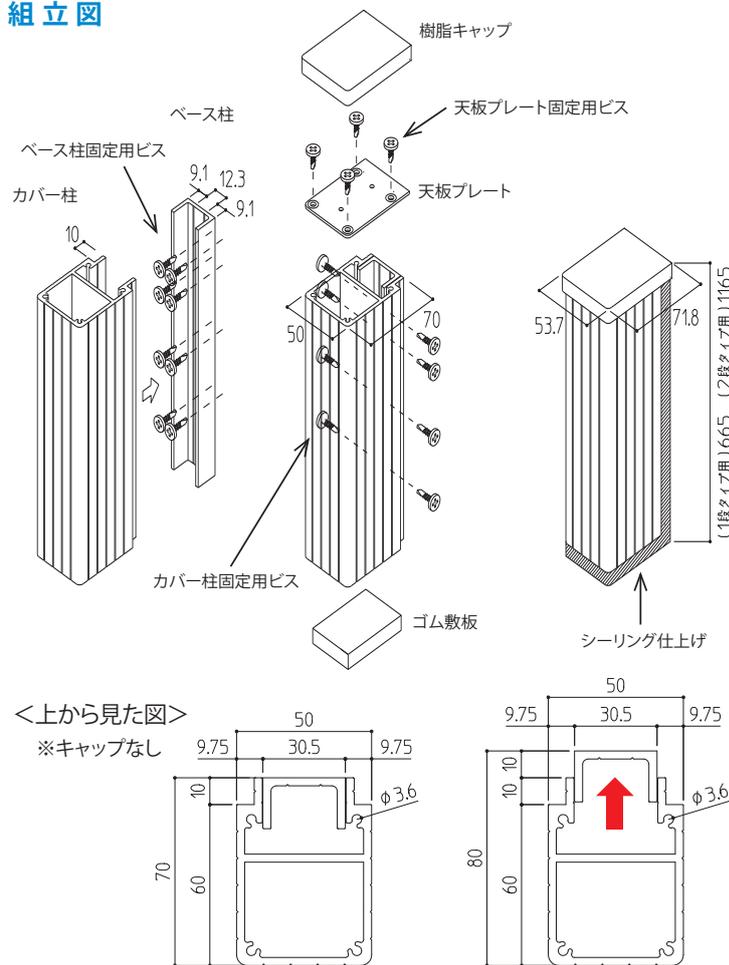


製品仕様

- 2本組/セット
- 組み上がり寸法：
高さ665(1段タイプ用)・1,165(2段タイプ用)mm / 幅50mm / 奥行70mm
- 材質：アルミニウム
- 構成部品：
樹脂キャップ / 天板プレート / ベース柱 / カバー柱 / ゴム敷板 / ベース柱固定用ビス (2種類) / カバー柱固定用ビス (2種類) / 天板プレート固定用ビス

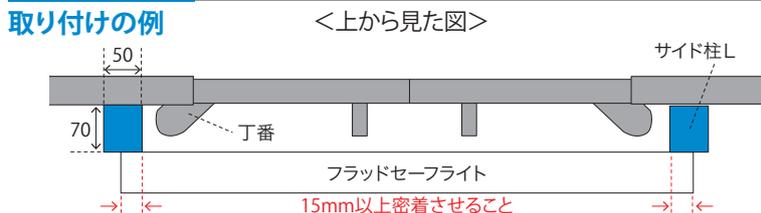
※変成シリコーン系シーリング材にて処理してください。
下地に合わせてプライマーを選定してください。

組立図



施工時の調整により最大で80mmまでの出幅までに対応できます。
※80mm以上には調整できません。

取り付けの例

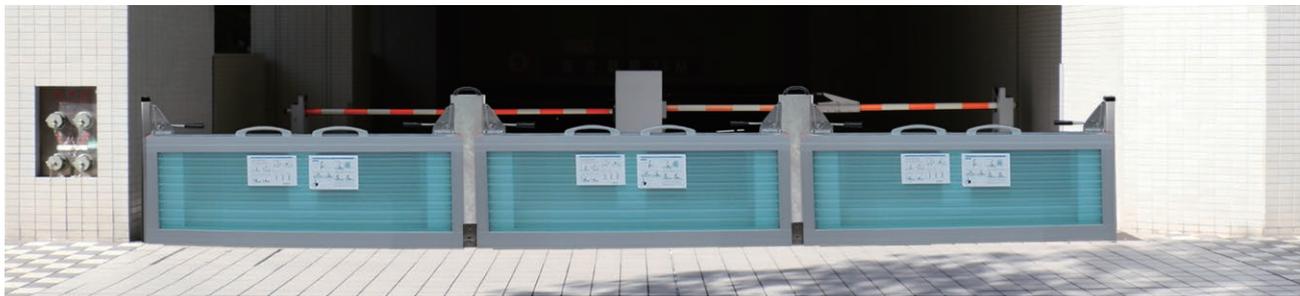


フラッドセーフ
ライト

ガイドライン	製品
止水板とは	
JIS等級	メカニズム
1段タイプ	
2段タイプ	特長
かんたん 2ステップ	
止水性	設置
軽くて強い	
簡易工事	設置場所
設置条件	
設置場所	サイド柱L
サイド柱	
サイド柱L	オプション部材
屋内用 サイド柱	
中間柱	ドアセンサー 回避部材
お客様の声	
設置例	設置方法
標準仕様図	
1段タイプ	サイド柱L
2段タイプ	
サイド柱	屋内用 サイド柱
サイド柱L	
中間柱	保管方法
メンテナンス 交換パッキン	
フラッドセーフ パネル	

フラッドセーフライト専用 オプション部材 中間柱

地下駐車場の入口などの広い間口も、連結できる中間柱で解決！



品番

FLC01 (1段タイプ用) 標準品

価格 (材料価格・税別)

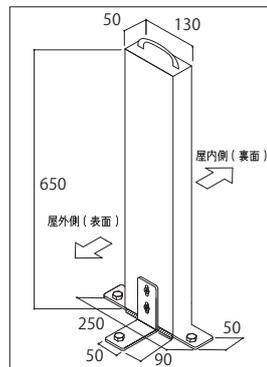
セット販売品

フラッドセーフライトとセットでご注文ください。

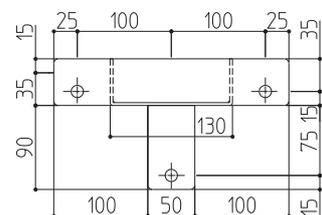
(1段タイプ用)

60,000円 / 本・セット

組立図



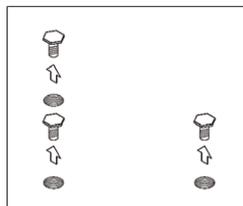
<上から見た図>



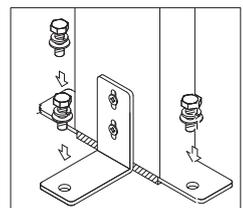
中間柱は**常設ではありません**のでフラッドセーフライトと共に必要時に設置してください。

設置の流れ

※事前に中間柱の施工方法に準じたアンカー類の工事が必要です。



①カバーねじの取り外し (M10超低頭六角ボルトの取り外し)



②中間柱の設置 (M10六角ボルトの取り付け)

①止水板の固定金具をスライドさせて位置合わせをする際、**レバーは立てた状態で行ってください。**



②**端から順番**に設置ください。



○ 端から設置

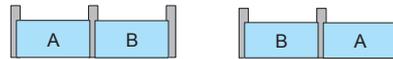


✕ 中央から設置

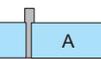
③止水板の固定金具は1mm単位でスライドできるため、間口にジャストフィットするような位置合わせが可能です。よって同じ幅の製品であっても、実際に位置合わせした止水板以外を設置すると密着度が低くなりますので、必ず位置合わせを行った製品をご使用ください。



事前準備 (位置合わせ)



○ 実際の使用時



✕

特長

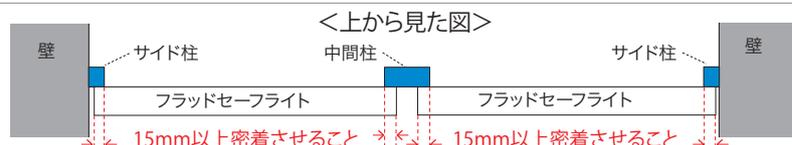
- 勾配調整機能付き。
- 設置も楽々、取り付け時間はわずか数分。
- 取り外し可能です。フラッドセーフライトと同様に、必要時に設置してください。

製品仕様

- 本体重量：4.2kg
- 寸法：高さ650mm / 幅130mm (底面は250mm) / 奥行50mm
- 材質：ステンレスSUS304
- 構成部品：本体 / めねじアンカー (3本) / 固定用ボルト (3本) / カバーねじ (3本) / スパナ (14mm・17mm) / 止水パッキン (底面)

※フラッドセーフライト用サイド柱と組み合わせて使用いただけます。
※フラッドセーフライトと同様、1/10以上の勾配がある場所には設置できません。

取り付けの例



フラッドセーフ
ライト

ガイドライン

止水板とは

JIS等級

1段タイプ

2段タイプ

メカニズム

かんたん
2ステップ

止水性

軽くて強い

簡易工事

設置条件

設置場所

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

ドアセンサー
回避部材

お客様の声

設置例

標準仕様図

1段タイプ

2段タイプ

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

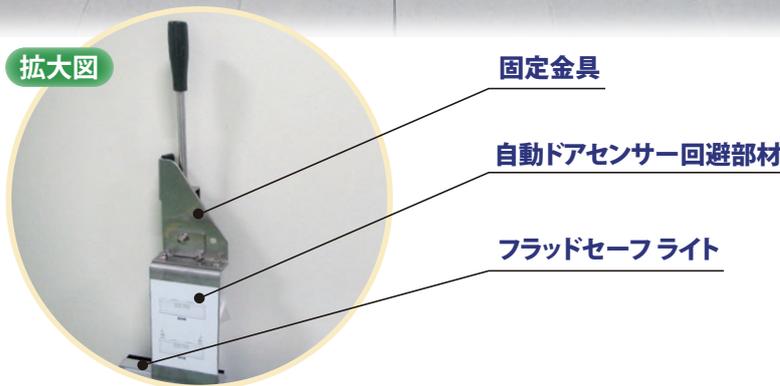
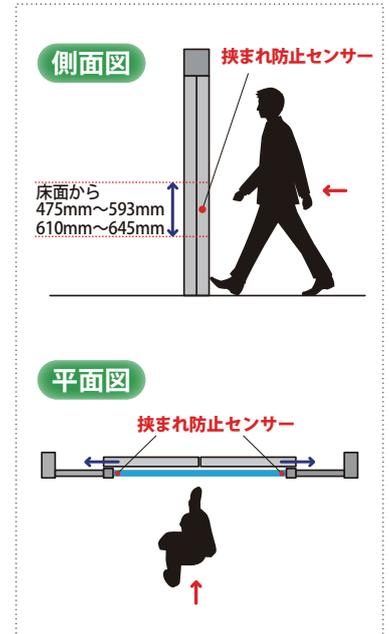
保管方法

メンテナンス
交換パッキン

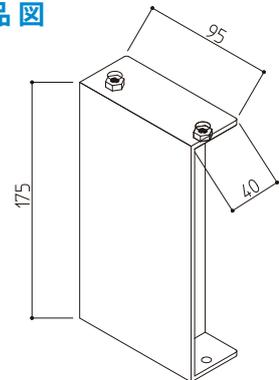
フラッドセーフ
パネル

フラッドセーフライト専用 オプション部材 自動ドアセンサー回避部材

フラッドセーフライトを設置すると「挟まれ防止センサー」が作動してしまうことがありました。
この部材で「挟まれ防止センサー」を回避することができます。



製品図



品番

FLB01 (1段タイプ用) 標準品

価格 (材料価格・税別)

セット販売品

フラッドセーフライトとセットでご注文ください。

(1段タイプ用)

20,000円 / 2本入り・セット

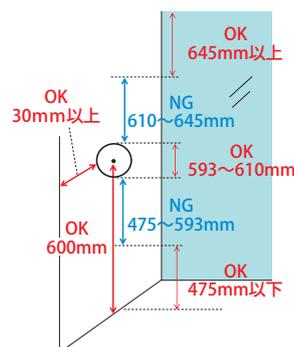
※フラッドセーフライトとのセット販売となります。

製品仕様

- 2本組/セット
- 寸法：高さ175mm/幅95mm/奥行40mm
- 材質：ステンレスSUS304
- 構成部品：自動ドアセンサー回避部材 (2個) / 六角ボルト (4個) / 平ワッシャー (4個) / スプリングワッシャー (4個)

特長

- 床面から475mm～593mm、610mm～645mm、の高さに自動ドアセンサーが存在する場合に有効です
- 固定操作は従来と同じ方法で行えます。



下記①②どちらかの条件を満たしていれば「自動ドアセンサー回避部材」は不要ですが、どちらも満たしていない場合は「自動ドアセンサー回避部材」が必要となります。

<①奥行>

壁の外側からセンサーふちまでの奥行が30mm以上ある場合。

<②高さ>

床からセンサー中央までの高さがちょうど600mmである場合。
または、センサーのふちが床から475mm以下か645mm以上の高さにある場合。

フラッドセーフライト お客様の声



2019年の台風15号・台風19号が上陸した際に設置を行いました。
持ち運びの軽さや設置の簡単さに満足しています。
花壇が倒れ、水で流された土がエントランスに入らなかったのが良かったです。
(東京都:某国際航空貨物輸送会社様)



設置前



設置後 フラッドセーフライト1段タイプ



2019年10月の台風19号が上陸した際に設置しました。
軽くて設置が簡単で良かったです。幸い浸水はありませんでしたが、
「設置しているから大丈夫」という安心感がありました。
(新潟県長岡市:某病院様)



設置前



設置後 フラッドセーフライト1段タイプ+サイド柱



フラッドセーフライト1段タイプを設置しました。
女性でも設置できることと、軽いのですぐに使えることが良いと思います。
実際に浸水したことはないのですが、レバーなどの構造上、
水の浸入は少ないだろうと思います。
(愛知県名古屋市:某印刷会社様)

フラッドセーフ
ライト

ガイドライン

止水板とは

JIS等級

1段タイプ

2段タイプ

メカニズム

かんたん
2ステップ

止水性

軽くて強い

簡易工事

設置条件

設置場所

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

ドアセンサー
回避部材

お客様の声

設置例

標準仕様図

1段タイプ

2段タイプ

サイド柱

サイド柱L

屋内用
サイド柱

中間柱

保管方法

メンテナンス
交換パッキン

フラッドセーフ
パネル

フラッドセーフライト 設置例(2段タイプ)

■マンション・ビル

フラッドセーフ
ライト

ガイドライン
止水板とは
JIS等級

製品
1段タイプ
2段タイプ

メカニズム
特長
かんたん
2ステップ
止水性
軽くて強い
簡易工事

設置
設置条件
設置場所

オプション
部材
サイド柱
サイド柱L
屋内用
サイド柱
中間柱
ドアセンサー
回避部材

お客様の声
設置例
標準仕様図

1段タイプ
2段タイプ

設置
方法
サイド柱
サイド柱L
屋内用
サイド柱
中間柱

保管方法
メンテナンス
交換パッキン
フラッドセーフ
パネル



フラッドセーフライト2段タイプ



フラッドセーフライト2段タイプ



フラッドセーフライト2段タイプ

フラッドセーフライト 設置例(2段タイプ)

■店舗



フラッドセーフライト2段タイプ



フラッドセーフライト2段タイプ

■管理人室



フラッドセーフライト2段タイプ+屋内用サイド柱

■通用口



フラッドセーフライト2段タイプ

フラッドセーフライト	
ガイドライン	製品
止水板とは	
JIS等級	製品
1段タイプ	
2段タイプ	製品
メカニズム	
かんたん2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	
設置条件	設置
設置場所	
サイド柱	オプション部材
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
ドアセンサー回避部材	設置例
お客様の声	
標準仕様図	設置方法
1段タイプ	
2段タイプ	設置方法
サイド柱	
サイド柱L	設置方法
屋内用サイド柱	
中間柱	設置方法
保管方法	
メンテナンス交換パッキン	設置方法
フラッドセーフパネル	

フラッドセーフライト 設置例(1段タイプ)

■銀行



フラッドセーフライト1段タイプ

■エレベーター前



フラッドセーフライト1段タイプ

■地下店舗



フラッドセーフライト1段タイプ+サイド柱

■店舗



フラッドセーフライト1段タイプ

■地下駐車場



フラッドセーフライト1段タイプ+サイド柱+中間柱

フラッドセーフライト	
製品	ガイドライン
	止水板とは
	JIS等級
製品	1段タイプ
	2段タイプ
特長	メカニズム
	かんたん2ステップ
	止水性
	軽くて強い
設置	簡易工事
	設置条件
設置場所	設置場所
	サイド柱
	サイド柱L
オプション部品	屋内用
	サイド柱
	中間柱
	ドアセンサー回避部材
設置例	お客様の声
	標準仕様図
設置方法	1段タイプ
	2段タイプ
	サイド柱
	サイド柱L
保守方法	屋内用
	サイド柱
	中間柱
メンテナンス	交換パッキン
	フラッドセーフパネル

フラッドセーフライト 設置例(1段タイプ)

■通路



サイド柱



屋内用サイド柱



フラッドセーフライト1段タイプ+サイド柱



フラッドセーフライト1段タイプ+屋内用サイド柱

■工場



サイド柱+中間柱



フラッドセーフライト1段タイプ+サイド柱+中間柱

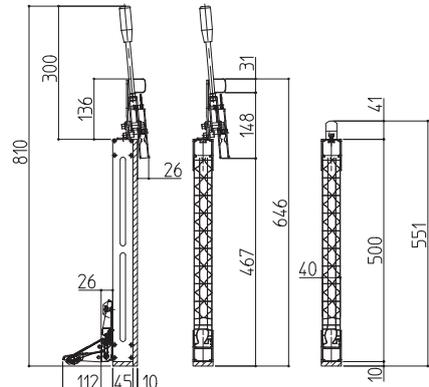
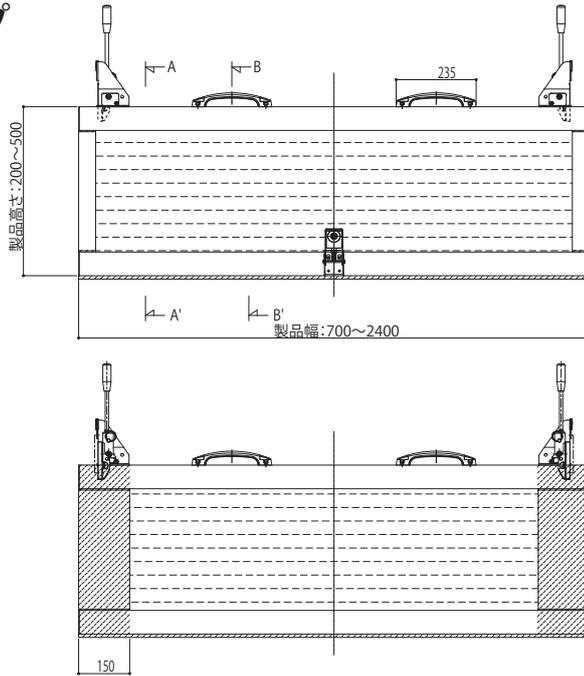


フラッドセーフライト1段タイプ+サイド柱+中間柱

フラッドセーフ ライト	
ガイドライン	製品
止水板とは	
JIS等級	メカニズム
1段タイプ	
2段タイプ	特長
かんたん 2ステップ	
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	設置
設置条件	
設置場所	設置方法
サイド柱	
サイド柱L	
屋内用 サイド柱	オプション 部材
中間柱	
ドアセンサー 回避部材	設置例
お客様の声	
標準仕様図	設置方法
1段タイプ	
2段タイプ	保管方法
サイド柱	
サイド柱L	メンテナンス 交換パッキン
屋内用 サイド柱	
中間柱	フラッドセーフ パネル

フラッドセーフライト標準仕様図

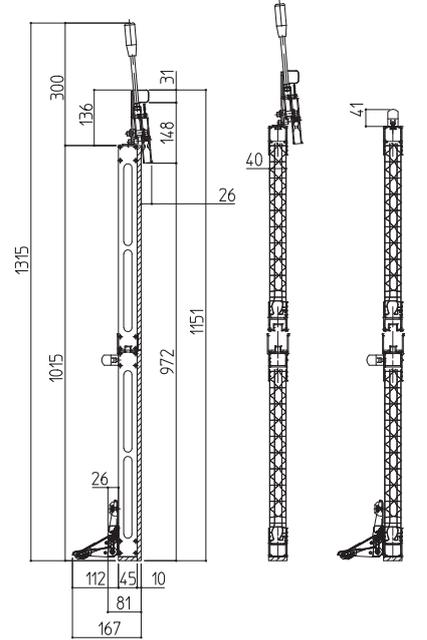
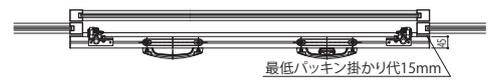
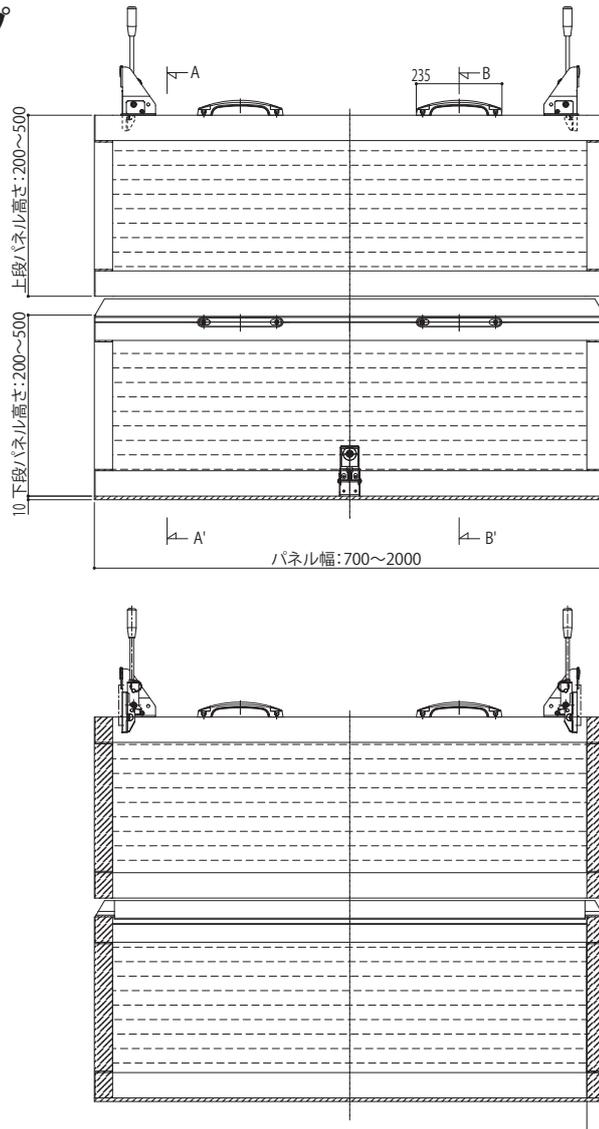
1段タイプ



設置時 A-A'断面図 B-B'断面図

※製品幅700~1,300mmは取手1個、
1,301mm~2,400mmは取手2個

2段タイプ



上下段連結時 A-A'断面図 B-B'断面図

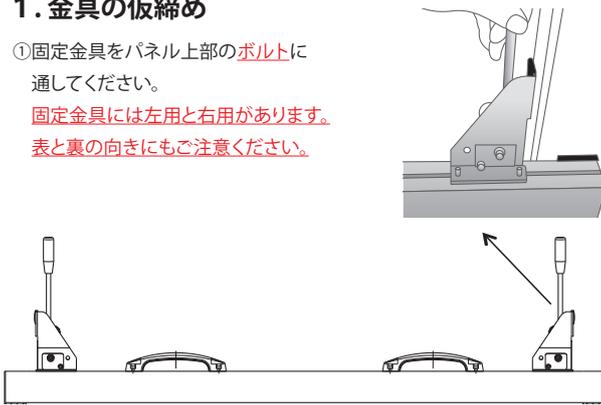
※製品幅700~1,300mmは取手1個、
1,301mm~2,000mmは取手2個

フラッドセーフライト	
品仕様	ガイドライン 止水板とは JIS等級 1段タイプ 2段タイプ
特徴	メカニズム かんたん2ステップ 止水性 軽くて強い 簡易工事
設置	設置条件 設置場所
オプション部材	サイド柱 サイド柱L 屋内用サイド柱 中間柱 ドアセンサー回避部材
設置方法	お客様の声 設置例 標準仕様図 1段タイプ 2段タイプ サイド柱 サイド柱L 屋内用サイド柱 中間柱 保管方法 メンテナンス 交換パッキン フラッドセーフパネル

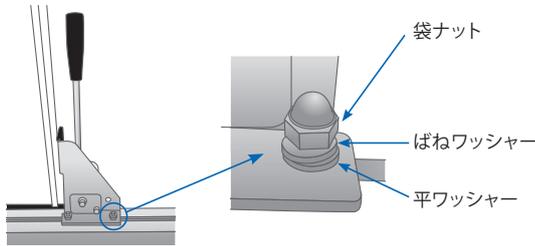
フラッドセーフライト1段タイプ 事前準備

1. 金具の仮締め

- ① 固定金具をパネル上部の**ボルト**に通してください。
固定金具には**左用と右用**があります。
表と裏の向きにも**ご注意ください**。

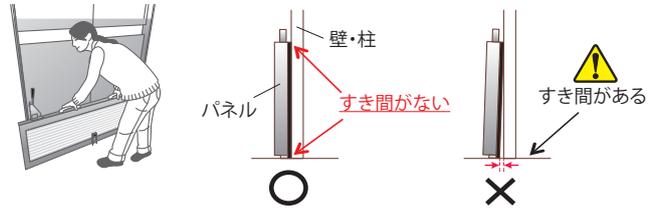


- ② 平ワッシャー → ばねワッシャー → 袋ナットの順でボルトに通し、手で**軽く締め**てください。(まだゆるんだ状態)



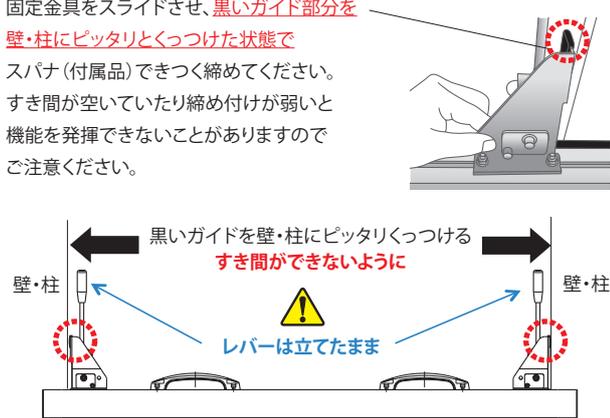
2. パネルの位置合わせ

パネルと壁や柱との間に**すき間ができない**ように合わせてください。



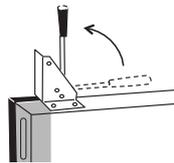
3. 金具の固定

固定金具をスライドさせ、**黒いガイド部分を壁・柱にピッタリとくっつけた状態**でスパナ(付属品)できつく締めてください。すき間が空いていたり締め付けが弱いと機能を発揮できないことがありますので**ご注意ください**。



フラッドセーフライト1段タイプ 設置手順

- 1人で設置しにくい場合は2人で行ってください。
- 金具のナットがゆるんでいる場合は事前準備(金具の取付)の手順で、もう一度きつく締め直してください。
- レバーが下りている場合は、右記の手順でロック解除を行い、レバーを上げておいてください。



<ロック解除方法>

- ① 金具の裏側にあるロック解除リングを引っ張りながら(または正面のボタンをペンなどで押しながら)
- ② レバーを上げてください。

① ロック解除リング

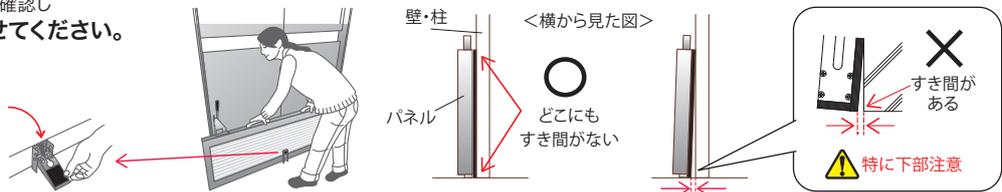


② レバー ↑ ここを押しても解除可

1. あわせる

ロックが解除していることを確認し**パネルの位置を合わせてください。(すき間がないように)**

フットペダルは開いておいてください。

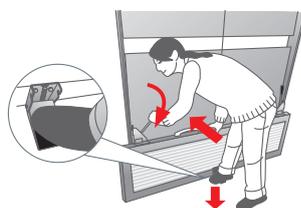


2. 固定(圧着)

すき間がない状態をキープしながら

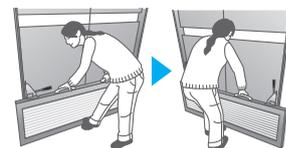
- ① フットペダルを**下までふみ込んだ状態**で
- ② **パネルを体で押しながら**
- ③ **レバーを下ろす**

完了 フットペダルから足を離してOK
(フットペダルが上に戻りますが異常ではありません)



2つ目のレバーを下ろす時にそのままの体勢でやりにくい場合は、**パネルが動かないように押さえながら**足を入れ替え、もう一度「①フットペダルをふむ」ところからやり直してください。**フットペダルには製品を固定させる機能はありません。**足を離すと戻ってくるため、パネル下部を押し込むためにもう一度フットペダルをふむ必要があります。

壁や柱との間にすき間がないか最終確認をしてください。
すき間がある場合はロック解除をしてもう一度やり直してください。



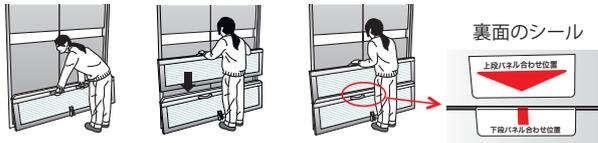
フラッドセーフライト	
ガイドライン	製品
止水板とは	
JIS等級	1段タイプ 2段タイプ
メカニズム	
かんたん2ステップ	特長
止水性	
軽く強い	設置
簡易工事	
設置条件	設置場所
設置場所	
サイド柱	オープン部材
サイド柱L	
屋内用サイド柱	ドアセンサー回避部材
中間柱	
お客様の声	設置例
標準仕様図	
1段タイプ	設置方法
2段タイプ	
サイド柱	屋内用サイド柱
サイド柱L	
中間柱	保管方法
メンテナンス交換パッキン	
フラッドセーフパネル	

フラッドセーフライト 2段タイプ 事前準備

作業中にパネルが倒れないようにご注意ください

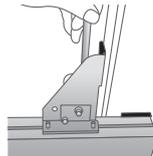
1. パネルの連結

設置したい場所に下段パネルを立てかけ、上段パネルを上からはめ込んでください。(裏面のシールで位置を確認ください。)

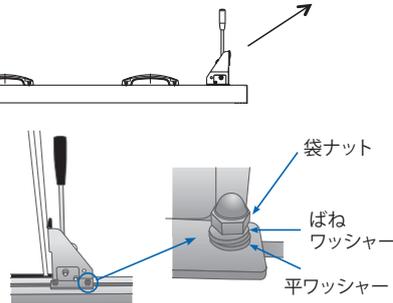


2. 金具の仮締め

① 固定金具を上段パネルのボルトに通して
ください。(下段パネルにはボルトがありません)
固定金具には左用と右用があります。
表と裏の向きにもご注意ください。

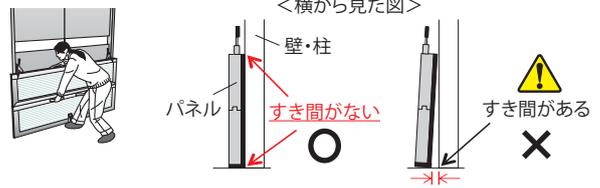


② 平ワッシャー
→ばねワッシャー
→袋ナットの順で
ボルトに通し、手で
軽く締めてください。
(まだゆるんだ状態)



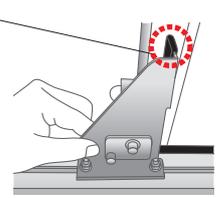
3. パネルの位置合わせ

パネルと壁や柱との間に**すき間ができない**ように合わせてください。



4. 金具の固定

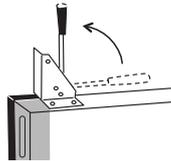
固定金具をスライドさせ、**黒いガイド部分を
壁・柱にピッタリとくっつけた状態で**
スパナ(付属品)できつく締めてください。
すき間が空いていたり締め付けが弱いと
機能を発揮できないことがありますので
ご注意ください。



特に注意(パネルが倒れやすい)

フラッドセーフライト 2段タイプ 設置手順

- 1人で設置しにくい場合は2人で行ってください。
広幅タイプは2人作業をおすすめします。
- 金具のナットがゆるんでいる場合は事前準備(金具の取付)の手順で、もう一度きつく締め直してください。
- レバーが下りている場合は、右記の手順でロック解除を行い、レバーを上げておいてください。



<ロック解除方法>

- ① 金具の裏側にあるロック解除リングを
引っ張りながら(または正面のボタンをペ
ンなどで押しながら)
- ② レバーを上げてください。



1. つなげる

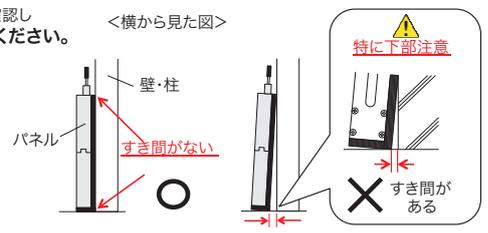
下段パネルを立てかけ、
上段パネルを上から
はめ込んで
つなげてください。



フットペダルは
開いておいて
ください。

2. あわせる

ロックが解除していることを確認し
パネルの位置を合わせてください。
(すき間がないように)



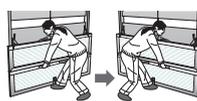
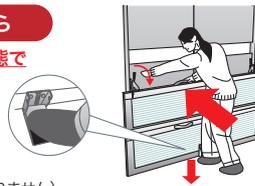
3. 固定(圧着)

すき間がない状態をキープしながら

- ① フットペダルを**下までふみ込んだ状態**で
- ② **パネルを体で押しながら**
- ③ **レバーを下ろす**

完了 フットペダルから足を離してOK
(フットペダルが上に戻りますが異常ではありません)

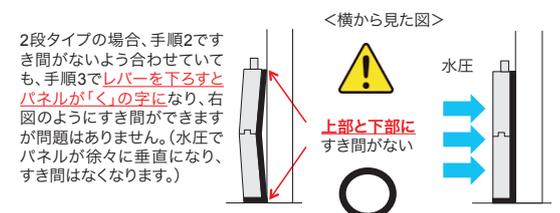
2つ目のレバーを下ろす時にそのままの体勢でやりにくい場合は、**パネルが動かないように押さえながら**足を入れ替えもう一度「①フットペダルをふむ」ところからやり直してください。**フットペダルには製品を固定させる機能はありません。**足を離すと戻ってくるためパネル下部を押し込むためにもう一度フットペダルをふむ必要があります。



4. チェック

壁や柱との間にすき間がない最終確認をしてください。

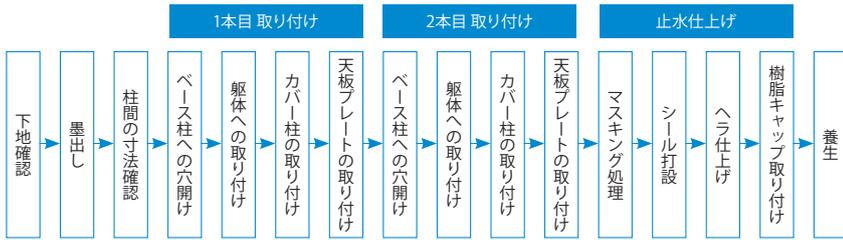
すき間がある場合はロック解除をしてもう一度やり直してください。



フラッドセーフライト
ガイドライン
止水板とは
JIS等級
製品
1段タイプ
2段タイプ
メカニズム
かんたん2ステップ
止水性
軽くて強い
簡易工事
設置条件
設置場所
サイド柱
オプション部材
サイド柱L
屋内用サイド柱
中間柱
ドアセンサー回避部材
お客様の声
設置例
標準仕様図
1段タイプ
2段タイプ
設置方法
サイド柱
サイド柱L
屋内用サイド柱
中間柱
保管方法
メンテナンス交換パック
フラッドセーフパネル

フラッドセーフライト専用 サイド柱 施工方法

※変成シリコン系シーリング材にて処理してください。下地に合わせてプライマーを選定してください。



施工の際に準備するもの

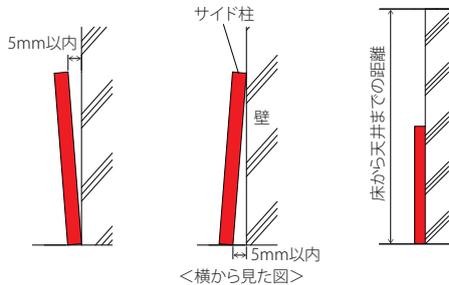
- インパクトドライバー
- 水準器、水系等
- 変成シリコン系シーリング材
- コーキングガン
- マスキングテープ
- 仕上げ用ヘラ
- 壁面固定用ビス類



標準ビスを付属していますが、場合によって壁面に合わせて適正なビスを別途用意する、またはビスの取り付け本数を増やすなど行ってください。

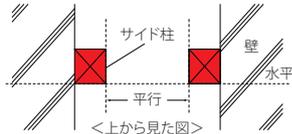
1. 下地確認

- 2mm以上の凹凸がある場合は、凹凸を避ける・平坦にするなどの調整を行ってください。
- 垂直に立ち上がっていない壁面の場合、設置できないことがあります。
- 壁面下地が軽量ボード等、ぜい弱下地の場合は、補強してください。
- 床面から高さ650mmの位置で傾きの距離が5mm以内が目安です。
- 床から天井までの距離は、1段タイプ用の場合1,350mm、2段タイプ用の場合は2,350mm以上必要です。
(カバー柱を上からスライドして取付ける構造のため、床から天井までの距離は柱の2倍以上必要です。)



2. 墨出し

- ベース柱の下にゴム敷板を必ず置いてください。
- 2本のサイド柱が同一直線状になるようにします。
- 2本のサイド柱が平行になるようにします。
ハの字にならないようにしてください。

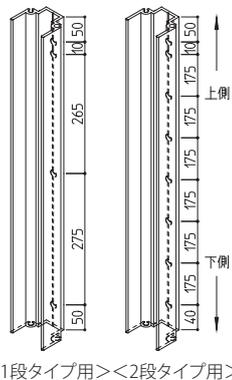


3. 柱間の寸法確認

- 柱と柱の間の距離が、フラッドセーフライトの対応間口幅より広いと設置できません。
- 対応間口幅の距離に納まっていることを確認してください。

4. ベース柱への穴開け

- ベース柱は、ビスで固定します。
- 1段タイプ用:4本 ・2段タイプ用:8本
※この本数以上でも可 ※位置は右図参照
- 穴開け位置を決める際は、ベース柱の下にゴム敷板を置き、穴開け箇所を決めてください。



<1段タイプ用><2段タイプ用>

5. 躯体への取り付け

- 敷板はベース柱からはみ出ないようにしてください。
- 壁面の材質に合わせ、付属のビスを使い分けてください。
- ※付属のビスで取り付け強度が不足する場合は、現場調達してください。

ビスの種類	適用下地
M4×32 なベコンクリートビス	コンクリート、磁器タイル等
M4×16 なベドリルビス	SUS板、アルミサッシ等

※コンクリートビスはφ3.5の下穴、タッピングビスはφ3.2の下穴をあけてください。

6. カバー柱の取り付け

- カバー柱は上方より差し込み、ゴム敷板に接するまでスライドさせます。

7. 天板プレートの取り付け

- 天板プレートを付属のM4×10皿タッピングビスで4か所固定してください。使用するビスの種類を間違えないよう、ご注意ください。

8. 止水処理

- 床面および壁面に接している箇所を全周シーリング処理します。

(1) マスキング処理

- シーリング仕上り幅の目安
床面：12mm程度
※10mm以下にならないこと
壁面：7mm程度
※5mm以下にならないこと

(2) シーリング材打設

- ヘラ仕上げ
・気泡が噛み込まないように、シーリング材の打設とヘラ仕上げを行ってください。気泡があると水漏れの原因となります場合があります。

- ・使用するシーリング材は変成シリコン系シーリング材とし、下地の種類に合わせて選定してください。

- ・シーリング材が乾かないうちにマスキングテープを除去してください。

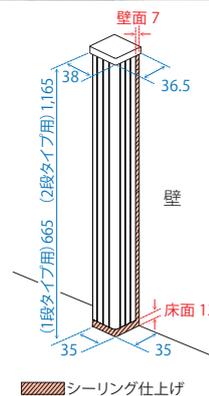
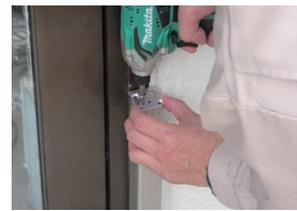
- ・シーリング材はかきとりすぎないようにご注意ください。

9. 樹脂キャップの取り付け

- 天板プレートの中央付近にシーリング材を塗布した後、樹脂キャップを押し付けてください。

10. 養生

- シーリング材が硬化するまでは、人や物が当たらないように注意喚起の表示等を行ってください。



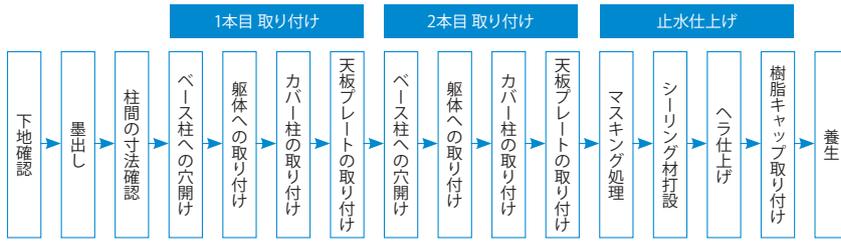
シーリング仕上げ



フラッドセーフライト	
ガイドライン	
止水板とは	
JIS等級	
1段タイプ	製品
2段タイプ	
メカニズム	
かんたん2ステップ	特長
止水性	軽く強い
簡易工事	
設置条件	設置
設置場所	
サイド柱	サイド柱L
サイド柱L	屋内用サイド柱
屋内用サイド柱	中間柱
中間柱	ドアセンサー回避部材
ドアセンサー回避部材	お客様の声
お客様の声	設置例
設置例	標準仕様図
標準仕様図	1段タイプ
1段タイプ	2段タイプ
2段タイプ	設置方法
設置方法	サイド柱L
サイド柱L	屋内用サイド柱
屋内用サイド柱	中間柱
中間柱	保管方法
保管方法	メンテナンス交換パッキン
メンテナンス交換パッキン	フラッドセーフパネル
フラッドセーフパネル	

フラッドセーフライト専用 サイド柱L 施工方法

※変成シリコン系シーリング材にて処理してください。下地に合わせてプライマーを選定してください。



施工の際に準備するもの

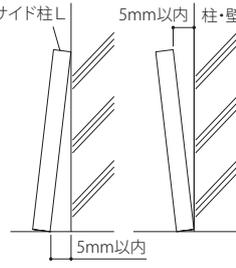
- インパクトドライバー
- マスキングテープ
- 水準器
- 仕上げ用ヘラ
- 変成シリコン系シーリング材
- 壁面固定用ビス類
- コーキングガン



標準ビスを付属していますが、場合によって壁面に合わせて適正なビスを別途用意する、またはビスの取り付け本数を増やすなど行ってください。

1. 下地確認

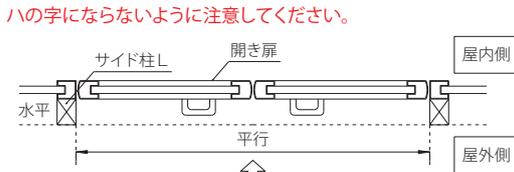
- グレーチング、アスファルト、インターロッキングブロックの上には施工できません。
- 壁面は凹凸のない状態が理想です。2mm以上の凹凸がある場合は、凹凸を避ける・平坦にするなどの調整を行ってください。
- 垂直に立ち上がっていない壁面の場合、傾きの距離が5mm以内が目安です。
- 壁面下地が木製下地・軽量ボード等ぜい弱下地の場合は、ご使用できません。



<横から見た図>

2. 墨出し

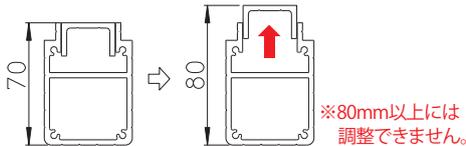
- ベース柱の下にゴム敷板を必ず置いてください。
- 2本のサイド柱Lが同一直線状になるように墨出します。
- 2本のサイド柱Lが平行になるように墨出します。



<上から見た図>

3. 奥行き位置確認

- サイド柱Lの基本納まりの奥行きは70mmですが、扉の取手や丁番が干渉する場合、80mmまで調整して取り付けすることができます。



※80mm以上には調整できません。

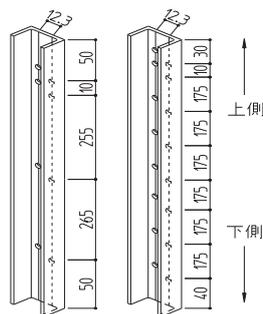
<上から見た図>

3. 柱間の寸法確認

- 柱と柱の間の距離が、止水板の対応間口幅より広いと設置できません。
- 対応間口幅の距離に納まっていることを確認してください。

4. ベース柱への穴開け

- ベース柱は、ビスで固定します。
 - ・1段タイプ用: 8本
 - ・2段タイプ用: 16本
- ※この本数以上でも可
- ※位置は右図参照
- 穴開け位置を決める際は、ベース柱の下にゴム敷板を置き、穴開け箇所を決めてください。



<1段タイプ用> <2段タイプ用>

5. 躯体への取り付け

- 敷板はベース柱からはみ出ないようにしてください。
- 壁面の材質に合わせ、付属のビスを使い分けてください。
- ※付属のビスで取り付け強度が不足する場合は、現場調達してください。

ビスの種類	適用下地
M4×32なべ コンクリートビス	コンクリート、 磁器タイル等
M4×16なべ ドリルビス	SUS板、 アルミサッシ等

※コンクリートビスはφ3.5の下穴、ドリルビスはφ3.2の下穴をあけてください。



6. カバー柱の取り付け

- ベース柱にカバー柱を被せ、M4×13なべドリルビスで固定します。
- 上側に多めにビスで固定します。(上側は特に強固にビスを固定する必要があります。)



7. 天板プレートの取り付け

- 天板プレートを付属のφ4×10皿タッピングビスで4か所固定してください。



8. 止水処理

- 床面および壁面に接している箇所を全周シーリング処理します。

- (1) マスキング処理
シーリング箇所にマスキングテープを貼りつけてください。
シーリング仕上り幅の目安
床面: 12mm程度
※10mm以下にならないこと
壁面: 12mm程度
※10mm以下にならないこと

- (2) シーリング材打設
- (3) ヘラ仕上げ
 - ・気泡が噛み込まないように、シールの打設とヘラ仕上げを行ってください。気泡があると水漏れの原因となります。
 - ・使用するシールは変成シリコン系シーリング材とし、下地の種類に合わせてプライマーを選定してください。
 - ・シーリング材が乾かないうちにマスキングテープを除去してください。
 - ・シーリング材は、かきとりすぎないようにご注意ください。



9. 樹脂キャップの取り付け

- 天板プレートの中央付近にシーリング材を塗布した後、樹脂キャップを押し付けてください。



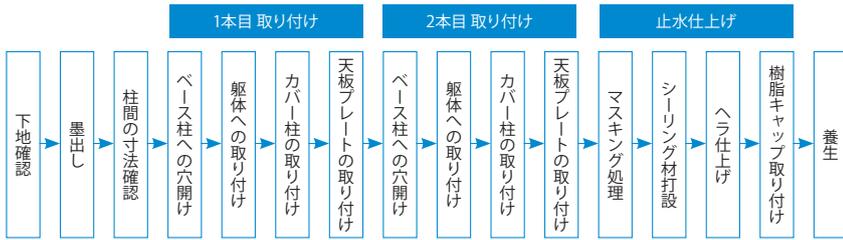
10. 養生

- シーリング材が硬化するまでは、人や物が当たらないように注意喚起の表示等を行ってください。

フラッドセーフライト	ガイドライン
	止水板とは
	JIS等級
製品	1段タイプ
	2段タイプ
	メカニズム
かんたん2ステップ	
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	
設置条件	
設置場所	
サイド柱	
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
ドアセンサー回避部材	
お客様の声	
設置例	
標準仕様図	
1段タイプ	
2段タイプ	
サイド柱	
サイド柱L	
屋内用サイド柱	
中間柱	
保管方法	
メンテナンス交換パック	
フラッドセーフパネル	

フラッドセーフライト専用 屋内用サイド柱 施工方法

※変成シリコン系シーリング材にて処理してください。下地に合わせてプライマーを選定してください。



施工の際に準備するもの

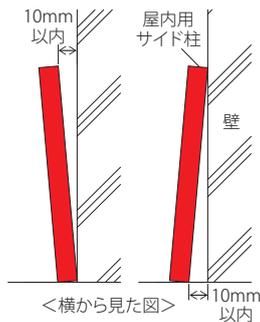
- ・インパクトドライバー ・マスキングテープ
- ・水準器 ・仕上げ用ヘラ
- ・変成シリコン系シーリング材
- ・壁面固定用ビス類 ・コーキングガン



標準ビスを付属していますが、場合によって壁面に合わせて適正なビスを別途用意する、またはビスの取り付け本数を増やすなど行ってください。

1. 下地確認

- グレーチング、アスファルト、インターロッキングブロックの上には施工できません。
- 壁面は凹凸のない状態が理想です。2mm以上の凹凸がある場合は、凹凸を避ける・平坦にするなどの調整を行ってください。
- 垂直に立ち上がっていない壁面の場合、10mm程度の傾きまで対応できます。
- 壁面下地が木製下地・軽量ボード等ぜい弱な下地の場合は、補強してください。



2. 墨出し

- 2本のサイド柱が同一直線状になるよう墨出しします。
- 2本のサイド柱が平行になるように墨出しします。
ハの字にならないように注意してください。

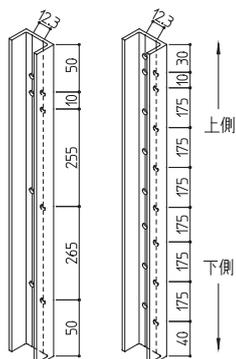


3. 柱間の寸法確認

- 柱と柱の間の距離が、フラッドセーフライトの対応間口幅より広いと設置できません。
- 対応間口幅の距離に納まっていることを確認してください。

4. ベース柱への穴開け

- ベース柱は、ビスで固定します。
 - ・1段タイプ用: 8本 (4か所×2列)
 - ・2段タイプ用: 16本 (8か所×2列)
 ※この本数以上でも可
 ※位置は右図参照
 コンクリートビスで取り付けの場合、ビス同士の間隔に注意してください。間隔が狭いと割れの原因となります。
- 上側に多めにビスで固定します。(上側は特に強固にビスを固定する必要があります。)



<1段タイプ用><2段タイプ用>

5. 躯体への取り付け

- 壁面の材質に合わせ、付属のビスを使い分けてください。

ビスの種類	適用下地
M4×32 なベコンクリートビス	コンクリート、磁器タイル等
M4×16 なベドリルビス	SUS板、アルミサッシ等



※コンクリートビスはφ3.5の下穴、タッピングビスはφ3.2の下穴をあけてください。

6. カバー柱の取り付け

- ベース柱にカバー柱を被せます。
- カバー柱は、8本のM4×13なベドリルビスで固定します。
- 上側に多めにビスで固定します。(上側は特に強固にビスを固定する必要があります。)
- 垂直に立ち上がっていない壁面の場合、10mm程度の傾きまで対応できます。



7. 天板プレートの取り付け

- 天板プレートを付属のM4×10皿タッピングビスで5か所固定してください。



8. 止水処理

- 床面および壁面に接している箇所を全周シーリング処理します。

(1) マスキング処理

- シーリング仕上り幅の目安
- 床面: 7mm程度
- ※5mm以下にならないこと
- 壁面: 12mm程度
- ※10mm以下にならないこと

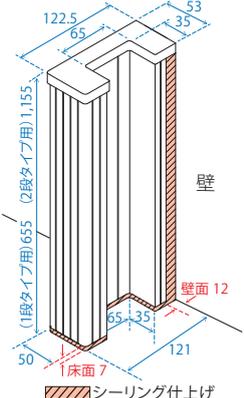
(2) シーリング材打設

- 気泡が噛み込まないように、シールの打設とヘラ仕上げを行ってください。気泡があると水漏れの原因となります場合があります。

- 使用するシーリング材は変成シリコン系シーリング材とし、下地の種類に合わせてプライマーを選定してください。

- シーリング材が乾かないうちにマスキングテープを除去してください。

- シーリング材は、かきとりすぎないようにご注意ください。



9. 樹脂キャップの取り付け

- 天板プレートの中央付近にシーリング材を塗布した後、樹脂キャップを押し付けてください。



10. 養生

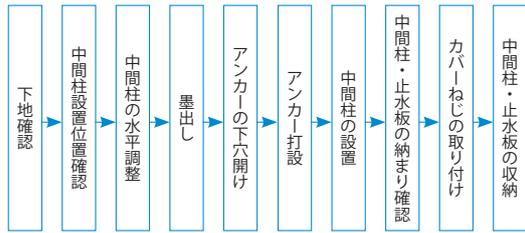
- シーリング材が硬化するまでは、人や物が当たらないように注意喚起の表示等を行ってください。

フラッドセーフライト

ガイドライン	製品
止水板とは	
JIS等級	
1段タイプ	メカニズム
2段タイプ	
かんたん2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	設置
設置条件	
設置場所	サイド柱
サイド柱L	
屋内用サイド柱	オプション部材
中間柱	
ドアセンサー回避部材	設置例
お客様の声	
標準仕様図	設置方法
1段タイプ	
2段タイプ	
サイド柱	屋内用サイド柱
サイド柱L	
中間柱	中間柱
保管方法	
メンテナンス交換パッキン	フラッドセーフパネル
フラッドセーフパネル	

フラッドセーフライト専用 中間柱 施工方法

※フラッドセーフ ライト用サイド柱と組み合わせて使用いただけます。 ※フラッドセーフ ライトと同様、1/10以上の勾配がある場所には設置できません。



施工の際に準備するもの

- ハンマードリル
- コンクリートドリルφ14.5
- プラスドライバー
- スパナ (10mm)
- レーザー水準器、水系等
- 集塵機、ダストポンプ等
- 下地補修用インスタントコンクリート

※コンクリートの状態によっては施工時にひび割れ・欠けが生じることがあります。
※現場状況にあわせて部材が必要になることがあります。



☆施工を始める前に別紙「部品一覧表」にて内容物を確認してください。
施主様への引き渡し時に必要部品が揃っていることをご確認ください。

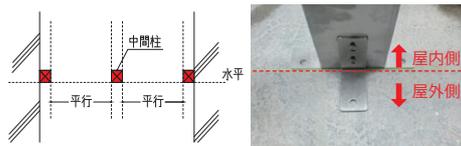
事前工事

1. 下地確認

- 下地の前後の勾配は1/10まで対応が可能です。勾配がある場合、施工手順3.中間柱の水平調整を行ってください。
- 1/10を超える勾配や凹凸がある場合は下地を平滑に仕上げる等の調整を行ってください。
- グレーチング、アスファルト、インターロッキングブロックの上には施工できません。

2. 中間柱設置位置

- レーザー水準器や水系を使用して、設置間口が水平であることを確認してください。
- 水平ラインと中間柱の前面ラインが合っていることを確認し、中間柱を設置間口中央に仮置きしてください。
- 中間柱設置時の向きにご注意ください。(屋内側/屋外側注意)



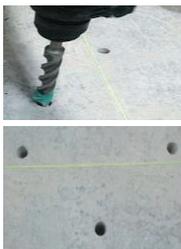
3. 墨出し

- 中間柱の位置が決まりましたら、アンカー打設を行う箇所の墨出しを行います。
- アンカー打設箇所は3か所です。



4. アンカーの下穴開け

- 墨出しを行った位置にアンカーの下穴を開けます。(コンクリートドリルφ14.5)
- 穿孔する深さは45mmが目安です。穿孔する深さに注意してください。(アンカー長さ全長40mm)
- 集塵機・ダストポンプ等を使用して、穴内の切削粉を取り除いてください。



5. アンカー打設

- 穴内にアンカーを挿入し、アンカー打ち込み棒等を使用してハンマーで打ち込んでください。
- 打ち込みの手ごたえや音が変わるまでが目安です。



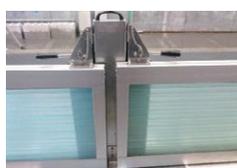
6. 中間柱の設置

- スパナで中間柱固定用ボルト (M10六角ボルト) を締めて、中間柱を下地に固定します。



7. 中間柱・止水板の納まり確認

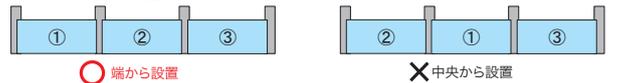
- 中間柱を設置した状態で止水板を設置し、納まりを確認してください。
- 止水板の固定金具の位置合わせ方法は止水板に貼付してある手順書を確認してください。



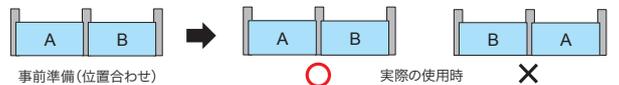
- ① 止水板の固定金具をスライドさせて位置合わせをする際、レバーは立てた状態で行ってください。



- ② 端から順番に設置ください。

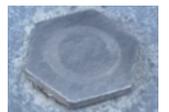


- ③ 止水板の固定金具は1mm単位でスライドできるため、間口にジャストフィットするような位置合わせが可能です。よって同じ幅の製品であっても、実際に位置合わせした止水板以外を設置すると密着度が低くなりますので、必ず位置合わせを行った製品をご使用ください。



8. カバーねじの取り付け

- アンカー施工箇所にゴミ・砂等が入らないように、カバーねじ (M10超低頭六角ボルト) を取り付けてください。

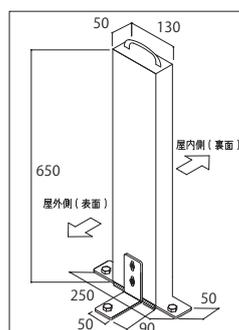


9. 中間柱・止水板の収納

- 中間柱・止水板を取り外し、所定の保管場所に保管してください。止水板と中間柱の部品 (工具・ボルト類) の保管は専用の収納袋をご使用ください。
- 部品の紛失にご注意ください。

使用時の設置手順

- ① カバーねじの取り外し (M10超低頭六角ボルトの取り外し)
- ② 中間柱の設置 (M10六角ボルトの取り付け)



カバーねじに小石やごみがある場合は必ず取り除いてください。
外したカバーねじは収納袋に入れて保管する等、紛失しないようにしてください。
施主様への引き渡し時に必要部品が揃っていることをご確認ください。

フラッドセーフライト
ガイドライン
止水板とは
JIS等級
製品
1段タイプ
2段タイプ
メカニズム
かんたん2ステップ
止水性
軽くて強い
簡易工事
設置条件
設置場所
サイド柱
サイド柱L
屋内用サイド柱
中間柱
ドアセンサー回避部材
お客様の声
設置例
標準仕様図
1段タイプ
2段タイプ
サイド柱
サイド柱L
屋内用サイド柱
中間柱
保管方法
メンテナンス交換パッキン
フラッドセーフパネル

フラッドセーフ保管方法

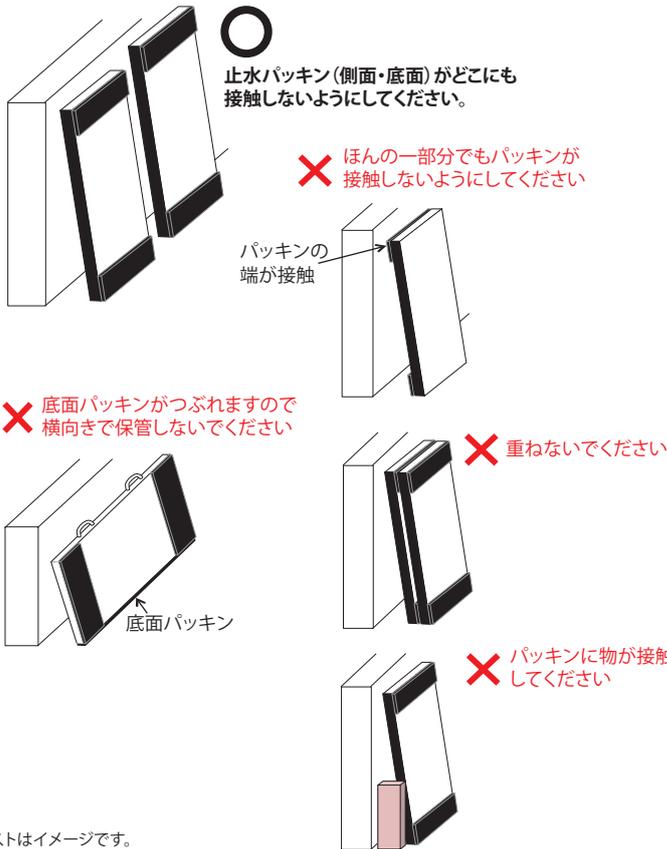
- 使用しない時は、**屋内(直射日光・高温多湿を避ける)**での保管をお願いします。
- フラッドセーフライトは、**付属の収納バッグ**に入れて保管ください。(下記の写真やイラストは、説明のため収納袋を省略しています。)



保管中に止水パッキンが潰れて変形しないよう、パッキンに圧力がかからない状態で保管ください

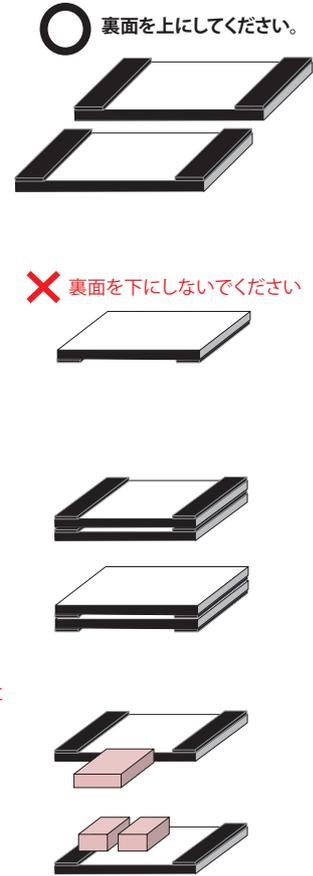
立て掛ける場合

※複数保管する場合はパッキンが接触しないように間隔を空けて並べてください。
 ※立てかける場合は転倒防止を行ってください。



※イラストはイメージです。

平置きする場合



吊り下げる場合

フラッドセーフライト

取手部分をフックに掛けて吊り下げることが可能です。



<推奨フック>
 1段タイプ・2段タイプ
 どちらでも使用可能

メーカー : (株)シロクマ
 品番 : ST-209
 品名 : JW型フック
 サイズ : 60

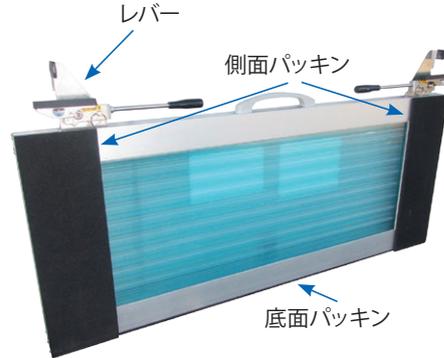


フラッドセーフ
 ライト

ガイドライン	
止水板とは	
JIS等級	
1段タイプ	製品
2段タイプ	
メカニズム	
かんたん 2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	
簡易工事	設置
設置条件	
設置場所	
サイド柱	オプション 部材
サイド柱L	
屋内用 サイド柱	
中間柱	
ドアセンサー 回避部材	
お客様の声	
設置例	
標準仕様図	
1段タイプ	
2段タイプ	
サイド柱	設置 方法
サイド柱L	
屋内用 サイド柱	
中間柱	
保管方法	
メンテナンス 交換パッキン	
フラッドセーフ パネル	

フラッドセーフメンテナンス方法

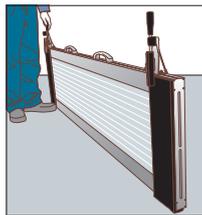
- 汚れを除去する場合は、**中性洗剤(水で200倍程度に薄めたもの)**を浸した**やわらかい布**で軽く拭き取ってください。
(原液を使用すると、ひび割れが発生する恐れがありますのでご注意ください。)
- アルカリ性洗剤、酸性洗剤、クレンザー、シンナー、ベンジンは使用しないでください。
- 硬い布、研磨用スポンジ、タワシ、ブラシなどは傷つきの原因となりますので使用しないでください。
- フラッドセーフの常時設置は可能ですが、**固定金具のレバーや止水パッキンの経年変化を定期的にご確認ください。**
異常があれば、部品の交換を行ってください。



※画像はフラッドセーフライト1段タイプのもですが、
2段タイプやフラッドセーフパネルも同様に定期的な
点検を行ってください。

フラッドセーフライト

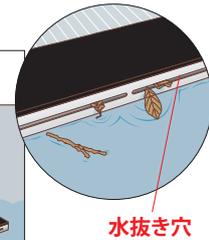
- フラッドセーフライト使用后、内部に水や滞留物(泥・落ち葉・小枝等)が残っている場合は、
本体を傾けて左右側面にある**水抜き穴から水や滞留物を取り除いてください。**
- 取り除きにくい場合は、ホース等で水を流し込んでください。
- 滞留物を内部に残したまま長期間放置すると、
取り除きにくくなる場合がありますので、なるべく
早めに除去してください。
- 清掃後は**水気をきって内部を乾燥**させてください。



水抜き穴：左右側面



ホースで水を流入して異物を取り除く

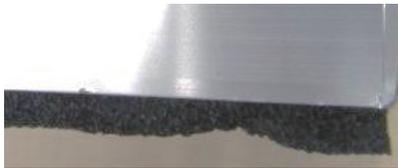


水抜き穴

止水パッキンの交換目安

- 止水パッキンは使用状況、経年変化により劣化します。
- 止水パッキンの交換の目安は5年ですが、劣化が散見される場合には交換をお勧めします。
- 交換についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

<止水パッキン劣化の一例>



止水パッキンの潰れ



止水パッキンの剥がれ



止水パッキンの欠け

フラッドセーフ ライト
ガイドライン
止水板とは
JIS等級
製品
1段タイプ
2段タイプ
メカニズム
かんたん 2ステップ
特長
止水性
軽くて強い
簡易工事
設置
設置条件
設置場所
オフ ション 部材
サイド柱
サイド柱L
屋内用 サイド柱
中間柱
ドアセンサー 回避部材
お客様の声
設置例
標準仕様図
設置方法
1段タイプ
2段タイプ
サイド柱
サイド柱L
屋内用 サイド柱
中間柱
保管方法
メンテナンス 交換パッキン
フラッドセーフ パネル

交換用止水パッキン

受注生産品

納期:10日間

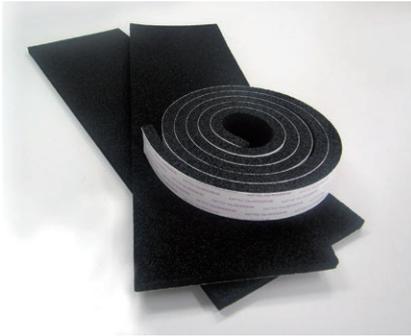
フラッドセーフライト 1段タイプ用 (幅2,000mmまで)

品番
FLB02

価格 (材料価格・税別)
15,000円/セット

【セット内容】

- ・側面パッキン 2本
(幅150mm×長さ510mm×厚さ10mm)
- ・底面パッキン 1本
(幅30mm×長さ2,000mm×厚さ10mm)



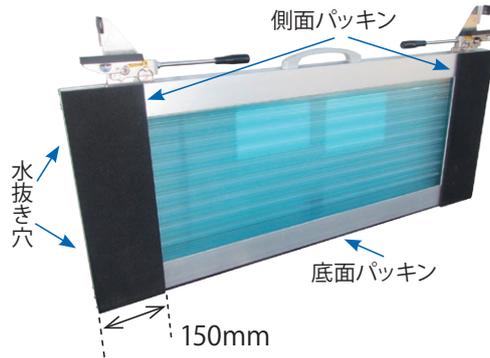
フラッドセーフライト 1段タイプ用 (幅2,001mm以上)

品番
FLB03

価格 (材料価格・税別)
20,000円/セット

【セット内容】

- ・側面パッキン 2本
(幅150mm×長さ510mm×厚さ10mm)
- ・底面パッキン 1本
(幅30mm×長さ2,400mm×厚さ10mm)



フラッドセーフライト 2段タイプ用

品番
FLB04

価格 (材料価格・税別)
36,000円/セット

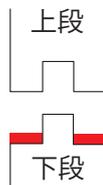
【セット内容】

- ・側面パッキン 4本
(幅50mm×長さ515mm×厚さ10mm)
- ・底面パッキン 1本
(幅30mm×長さ2,000mm×厚さ10mm)
- ・上段下段パネル重ね合わせ部パッキン 2本
(幅15mm×長さ2,000mm×厚さ5mm)

上段

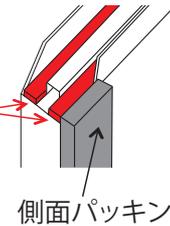
- ・側面パッキンのみ
(上段の底面にはパッキンはありません)

<横から見た図>



下段

- ・側面パッキン
- ・底面パッキン
- ・上段下段パネル重ね合わせ部パッキン



フラッドセーフ
ライト

ガイドライン	製品
止水板とは	
JIS等級	製品
1段タイプ	
2段タイプ	製品
メカニズム	
かんたん 2ステップ	特長
止水性	
軽くて強い	特長
簡易工事	
設置条件	設置
設置場所	
サイド柱	設置
サイド柱L	
屋内用 サイド柱	オプション 部材
中間柱	
ドアセンサー 回避部材	設置 例
お客様の声	
標準仕様図	設置 方法
1段タイプ	
2段タイプ	設置 方法
サイド柱	
サイド柱L	設置 方法
屋内用 サイド柱	
中間柱	設置 方法
保管方法	
メンテナンス 交換パッキン	設置 方法
フラッドセーフ パネル	

関連商品のご案内

より高い止水性をお求めの場合はこちらの商品が最適です

詳しくは別カタログ「フラッドセーフパネル」をご覧ください。

受注生産品

NETIS 登録製品 (登録番号 KK-170032-A)

フラッドセーフパネル1段タイプ

圧倒的な止水力!



※写真はオプション部材「中間柱」を使用。

水深 **50cm** 対応

オプション部材

中間柱

品番
FN00

価格 (材料価格・税別)

お問い合わせください

受注生産品

1段	
止水板枚数	1枚
仕様	1枚
1パネルの中	500~2,200mm(※)
対応浸水深	350~650mm
枠	2方枠/3方枠
重量	W1,000×H500 9.5kg
	W1,500×H500 11.9kg
	W2,000×H500 14.3kg

※2,001~2,200mmは三方枠仕様のみ
 ※納期: 6週間 (図面作成2週間+製作4週間)
 ※製品中は1mm単位で対応可能です。
 ※上段と下段は別々に梱包して出荷いたします。
 ※必ず上段と下段を連結した状態でご使用ください。
 片方だけの使用では、安全性や機能が保持できません。
 ※2段タイプの製品と連結することは出来ません。
 ※使用後は分割した状態で保管ください。

受注生産品

NETIS 登録製品 (登録番号 KK-170032-A)

フラッドセーフパネル2段タイプ

上下に連結することで、最大1m水深まで対応可能に!



※写真はオプション部材「中間柱」を使用。

水深 **1m** 対応

オプション部材

中間柱

品番
FN00

価格 (材料価格・税別)

お問い合わせください

受注生産品

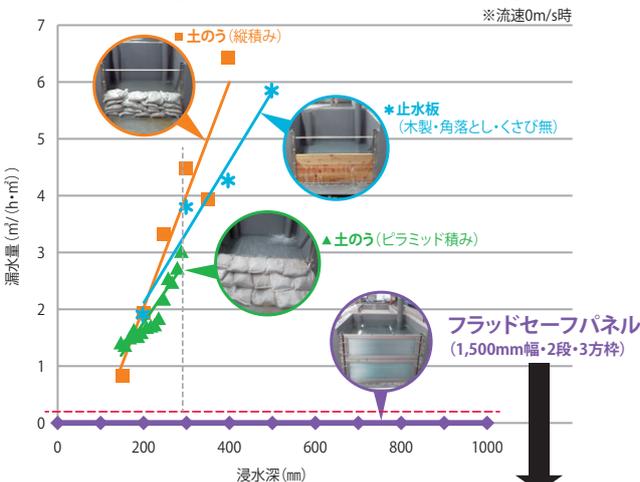
2段	
止水板枚数	2枚
仕様	2枚
1パネルの中	500~2,000mm
対応浸水深	700~1,000mm
枠	3方枠
重量	下段 W1,000×H540 10.2kg
	上段 W1,000×H500 10.1kg
	下段 W1,500×H540 13.0kg
	上段 W1,500×H500 12.9kg

※納期: 6週間 (図面作成2週間+製作4週間)
 ※特注品の製品中・製品高さは1mm単位で調整可能です。
 ※1段タイプと連結することは出来ません。
 ※下段のみの使用は可能ですが、上段のみの使用は出来ません。
 (上段の底面には止水パッキンがないため)

設置場所

地下街入口/地下駐車場入口/機械室・電気室・工場倉庫など

他の止水アイテムとの比較 (社外試験)



最大水深1,000mmでも高い止水性を維持!

0.001ml/(h·m²)以下

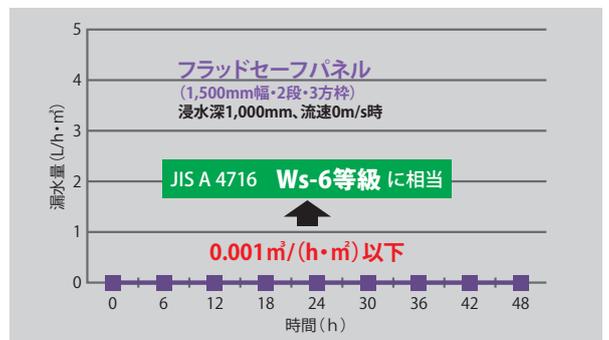
JIS A 4716 Ws-6等級に相当

品番

FN

受注生産品

時間経過による止水性の確認 (社内試験)



48時間後も高い止水性を維持!

<参考>

JIS A 4716の漏水量による等級

漏水量 [ml/(h·m ²)]	漏水量 [L/(h·m ²)]	等級
0.001以下	1以下	Ws-6
0.001を超え0.004以下	1を超え4以下	Ws-5

フラッドセーフライト

エレベーター前 間口角度確認方法

① ページ上下にある赤い点を結んだラインで
カタログを折り曲げてください。
(カットしてもOK)

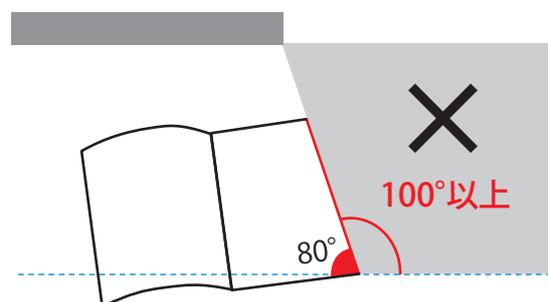
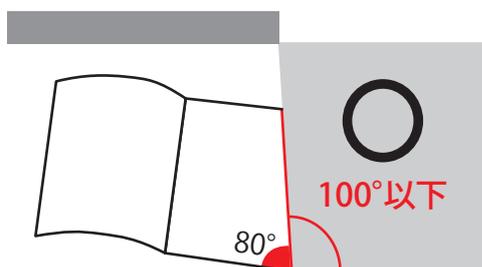
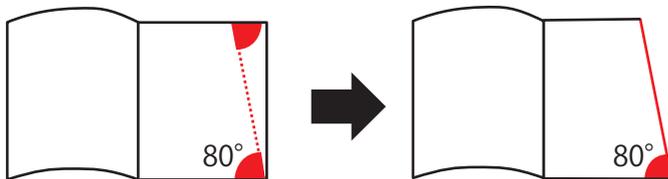
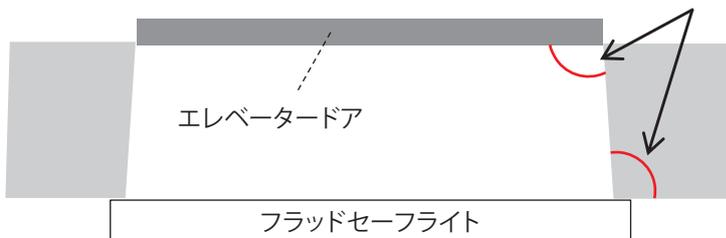
② 下図のように躯体にカタログを合わせると
角度が100°以下であるか確認できます。
下図の青い点線ラインには、直線性がある
もの(大きめの紙や定規など)を置いてくだ
さい。

※ 詳細な角度を出したい場合は市販の角度
測定器をお使いいただくか、営業担当者ま
でお問い合わせください。



■ 納まり図(上から見た場合)

100°以下の場合には設置可能



青い点線からカタログがはみ出ない場合は設置可能



フラッドセーフ 製品取扱い注意事項

本書をよくお読みになり、内容をよく理解された上でご使用ください。

本書は不定期に内容を更新することがあります。最新版の確認はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

運搬ならびに施工上の注意

警告 ●火気厳禁

●止水板としての用途以外で使用しないでください。

注意 ●

- 製品の引きずり、転倒、落下、乱暴な取り扱い、破損を招くだけでなく、人災事故や傷害などの原因となります。取扱いには十分に注意し、運搬時には荷崩れ防止を確実に行ってください。
- 内容物を確認し、手順書をよく確認してから施工を開始してください。
- 製品には方向性があります。正しい向きで施工しないと止水機能を発揮することができませんのでよく確認してください。
- 製品に変形や損傷があった場合、止水機能を保持できなくなることがあります。使用前によく点検を行ってください。
- 製品のパネル部分は塗料・溶剤に侵されますので、周辺で塗装工事などを行う場合は、製品を取り外してください。取り外せない場合は、保護シートを被せて塗料・溶剤がかからないようにしてください。
- オプション部材(サイド柱など)で、付属の標準ビスだけで設置できない場合は、状況に応じた適切なビスを別途ご用意いただくか、ビスの取り付け本数を増やしてください。

使用ならびに保管上の注意

注意 ●

- フラッドセーフは完全に止水できる製品ではありません。(わずかに水が浸み出る可能性があります。) 浸み出た水が室内に流れ込むのを防ぎたい場合は、タオルや雑巾で拭き取ってください。
- 設置後に製品をまたぐ場合、引っかかって転倒しないようご注意ください。
- 設置後はパネルや固定金具・ハンドルに不用意に触れないようにしてください。位置がずれると漏水の原因となります。
- 止水板として使用しているとき以外は保管してください。
- 使用後は早めに清掃してよく乾燥させてから、直射日光・高温多湿な環境を避けて保管してください。
- 汚れを除去する場合は、**中性洗剤**(水で200倍程度に薄めたもの)と**やわらかい布**を使用してください。
- アルカリ性洗剤、酸性洗剤、クレンザー、シンナー、ベンジンは使用しないでください。
- 硬い布、研磨用スポンジ、タワシ、ブラシなどは傷つきの原因となりますので使用しないでください。
- 保管時は**止水パッキンが変形しないように注意**し、上に重量物を置かないようにしてください。
- 止水パッキンは使用状況、経年変化により劣化します**。交換についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 製品に変形や損傷があった場合、止水機能を保持できなくなることがあります。定期的に点検を行ってください。
- フラッドセーフの常時設置は可能ですが、固定金具のレバーや止水パッキンの経年変化を定期的にご確認ください。異常があれば、部品の交換を行ってください。

免責事項

- 天災、火災若しくは飛来物等による外部からの損傷、その他の不可抗力に起因する不具合
- 取扱説明書などに記載された設置手順や注意事項等の不遵守に起因する不具合
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合
- 止水板の高さ以上となる越水、浸水や漏水による人命・家財等の被害
- 建築物の構造や床面の状況等、製品以外に起因する不具合
- 大気汚染、付着物による汚染又は引っ掻き傷等、物理的または科学的な外力に起因する不具合
- 設備変更又は保守改修等、使用者の都合で行われた工事に起因する不具合
- 使用者の故意又は過失に起因する不具合又は通常想定される使用方法を超えた方法で使用されたことに起因する不具合

お問い合わせ



タキロンマテックス株式会社

東京支店 〒108-6015 東京都港区港南2-15-1 (品川インターシティA棟) TEL (03) 5781-8150 FAX (03) 5781-8130

名古屋支店 〒461-0004 名古屋市中区東区1-19-30 (マザックアートプラザ) TEL (052) 930-5370 FAX (052) 937-2412

大阪支店 〒530-0001 大阪市北区梅田3-1-3 (ノースゲートビル) TEL (06) 6453-8170 FAX (06) 6453-8177

九州支店 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央街7-21 (福岡博多中央ビル9階) TEL (092) 472-5525 FAX (092) 473-9019

●ホームページ <https://www.t-matex.co.jp>

製造元



タキロンシーアイ株式会社

本社 〒530-0001 大阪市北区梅田3-1-3 (ノースゲートビル)

●ホームページ <https://www.takiron-ci.co.jp>

「タキロンシーアイ」、「C.I. TAKIRON」、「」、「フラッドセーフ」はタキロンシーアイ株式会社の日本国における登録商標です。

2021年1月現在
第1版

59008

2021.1(5)ISI

本書に掲載の記事、写真の無断転載、複製使用を禁じます。